花とゆめCOMICS

花巡礼

河惣益巳 2



花とゆめCOMICS

花　巡　礼

2

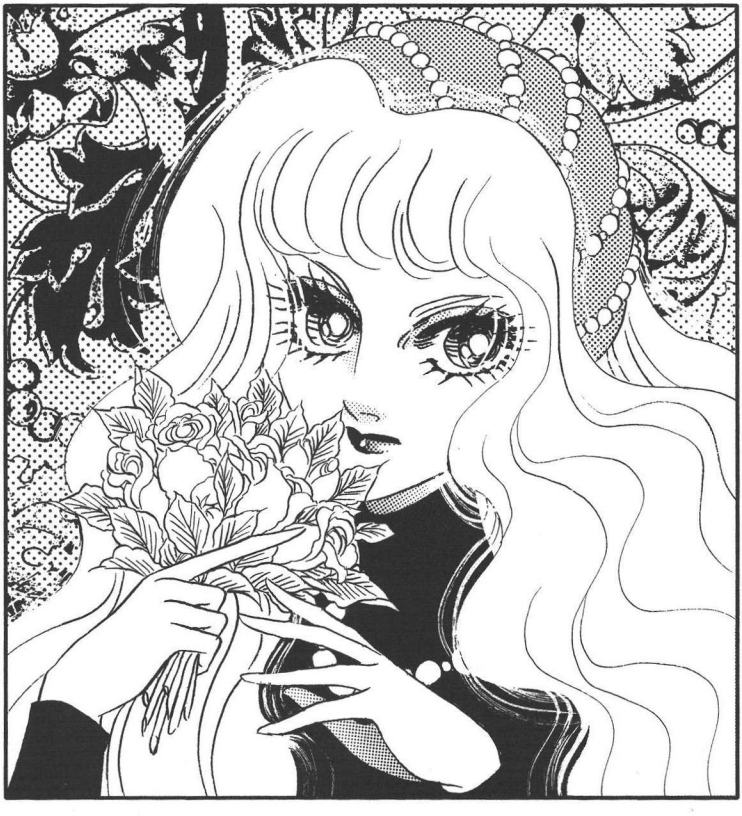
河惣益巳

花とゆめCOMICS

花巡礼

第2巻

河惣益巳





この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません。

■目次

花巡礼(はなじゅんれい)―ミレジーヌ編(へん)……5
扉絵(とびらえ)コレクション……188

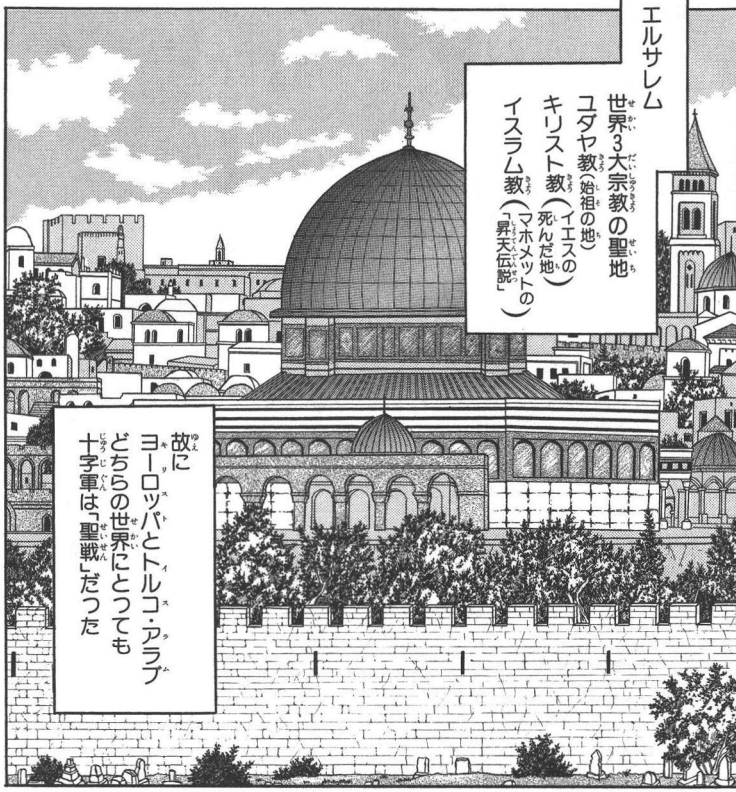

花巡礼
はなじゅんれい
ミレジーヌ編
へん

フランス・アンジュー家と
エルサレム王国との縁は深い

ヘンリー・プランタジネットの
祖父であるフルク(5世)・ダンジューは
エルサレム王ボードワン2世から
王国の継承を申し込まれた
王は男子の後継者を持たず
側近達と協議の結果 彼を
長女メリザンド王女の夫に
指名して来たのだった

当時フルクはすでに40歳に
なっていたのだが(メリザンド20歳)
息子ジョフロワ・ル・ベルには
英王女マチルダを娶合せ家を託し
東方へ旅立った(在位1131～43)

エルサレム王家にはアンジューの血が流れている



エルサレムはイスラム教徒にとってアラビア半島のメッカ（マホメットの生誕地）
メディナ（マホメットの死んだ地 墓もここにある）
に次ぐ第3の聖地であり盛んな巡礼地である。

「昇天伝説」とはコーランの第17章にあるマホメットが、夢の中で天馬ブラクに乗ってメッカからやって来て、岩を蹴り天国へ昇り、そこでキリストとモーゼに会い、再び天馬でメッカに戻ったという「神秘の旅」のことである。

この岩がエルサレムのモリア山にある大岩であるという。

（現在・「岩のドーム」のモスク）

又この岩（山）はユダヤ教徒には、ソロモン神殿跡であり、天地創造時に「基礎石」が置かれた重要な場所でもある。

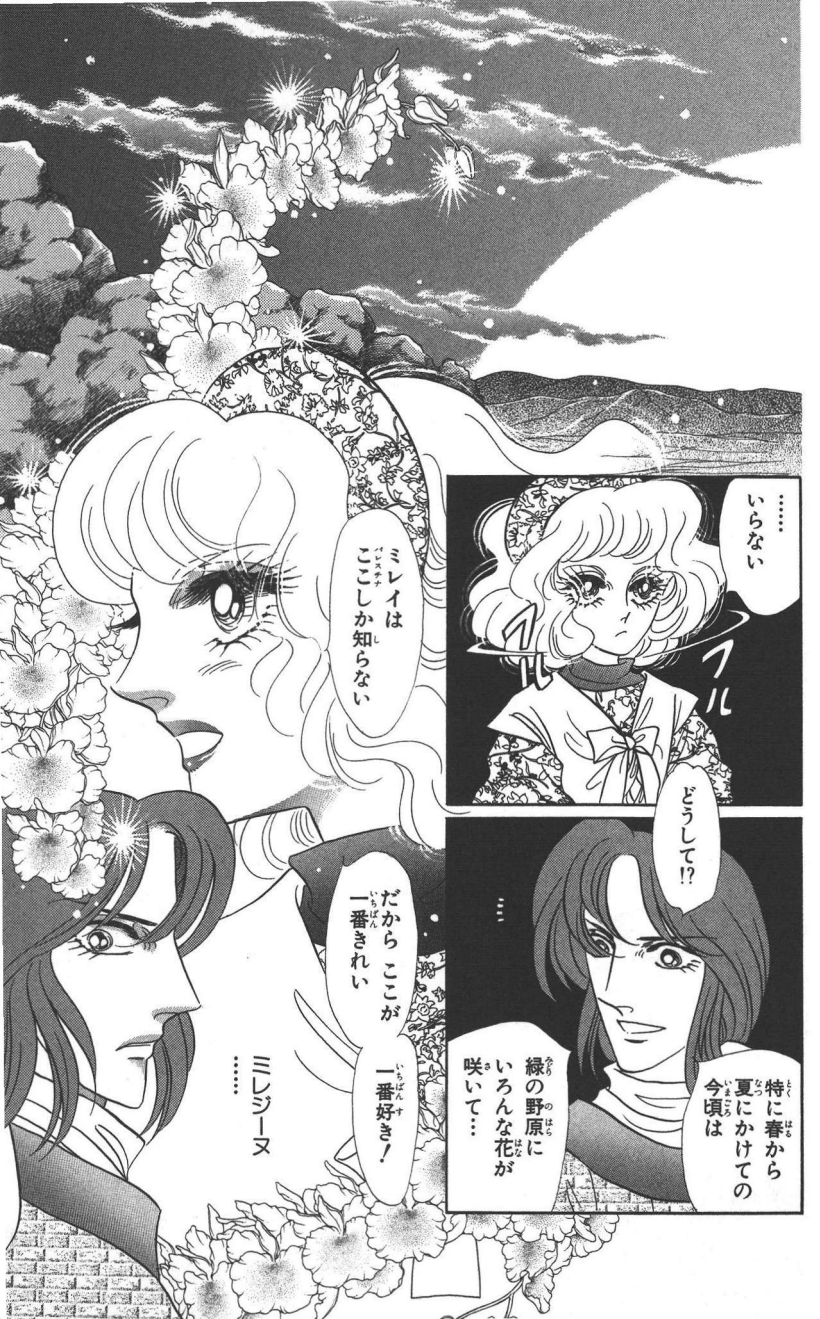

これは何だ？
ラベンダー
じゃあこれは？
セージ
これ
立麝香草
姫茴香
オレガノ
マージョラム
コンフリー
ローズマリー
そうだよく覚えたな偉いぞミレジーヌ
これは茴香芹？
父しゃま！


…まあ
毎日俺に付いてこのオアシスのほとりの薬草園に来てるから
ムリもない…か
パセリ
バジル
カモマイル♡


そろそろ陽が傾く
砦へ戻ろうミレイ
はァい


父しゃま！
母しゃまに摘んでいい？
リドウィナにか？
ああいいぞ


砂漠に落ちる夕陽
お陽しゃま
赤くて大きくて
きれいね
父しゃま
ポコ
ポコ
ポコ
…そうだな
ミレイ
砂と
岩ばかりの
だがな
ミレイ
父様と母様の
故郷のフランスは
もっときれいだぞ
ここが
地の果てとも
思える荒野
ポコ
ポコ
いつか
おまえにも
見せたいな


……
いらない
フル
どうして!?
……
特に春から
夏にかけての
今頃は
緑の野原に
いろんな花が
咲いて…
ミレイは
ここしか知らない
だから ここが
一番きれい
一番好き!
ミレジーヌ
……


…ああ
そうだった…な
父しゃまも好き――っ
その頃の私達は
おまえはここで生まれたんだものな
ミレイ…
中東とエジプトとの国境近くの街を護る小さな砦にいた
アラール！ミレジーヌ！戻ったか2人とも
よーっ
少々乱暴だが陽気で気のいい修道騎士達とともに
化膿止めってどれだっけ？
アラール！血止めくれ血止め！
施療室の予備使い切っちまったァ



修道騎士

騎士であり修道士

「祈りの人」である修道士と「闘う人」である騎士という全く相反する立場であるはずの人間が当時パレスチナには存在した。

聖都エルサレムへの巡礼路の治安は極めて悪く修道会は自衛を迫られ武装修道会・騎士修道会へと変身して行った。

有名なのにホスピス活動を前身とする「聖ヨハネ騎士団」とソロモン神殿跡の一部を本部とする「教会騎士団」がある。

しかしその実力故徐々に国境警備のような世俗的な任も負うようになる。

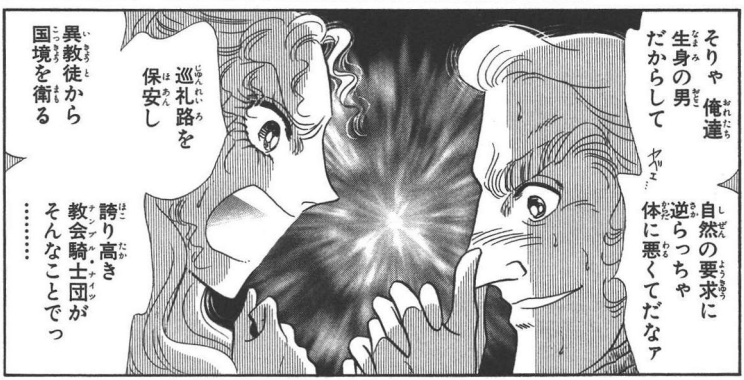

ここは
エルサレム王国の
はずれ
テンプル騎士団が
護る最前線の
砦だ
ゴリ
ゴリ
その乾いた
葉っぱ
取ってくれ
ミレイ
あい
いつ何時
敵の急襲を
受けるか
わからないんだから
イザって時に
戦えなきゃ
しょーがないでしょう
なァに
大丈夫さ
こんなの
ケガの内に
入らねェよ
俺達は
頑丈だし
この砦も
強固だし
それに
おまえみたいに
腕のいい
治療師もいるし
アラール
…いくら
ほめて
くれても
痛みは
軽くは
なりません
からね！


だから言ったでしょ!!
アラ〜〜ル加減しろよ〜〜〜〜
…痛い？
ミレイ？
ミレジーヌ
ね
痛い？
痛い!?
あっ
あのね
これ嗅ぐと
ちょっと痛いの
なくなるのよ
どうぞ！
全部はダメだけど
あげるから
ミレイ……
…いやいらねェよ
おまえの顔
見てたら痛み
消えたから
ミレイがお薬!?
そう
薬だ


俺達に
一等効く薬だ――
ミレイの
おかげで
手当てが
はかどる
な――
ギュ
ギュ
はい
終わり
！
ご…
ご苦労さん
アラール
さーっ
メシだ
メシだ
うん！
母しゃま
呼んでくるね
――っ
食堂
行くぞ
ミレイ


リ…
リドヴィナ
!?
リドナが
何か？
そういえば
どこに？
……
彼女なら
今…
オホン
オホン
多分
隊長と
2人で
……
執務室に
いるはず
だが…
モリソン
隊長と
!?
あ…あ
さっき
下の街から
付け馬が
何人か
来てたから
……
今頃きつく
絞られてるん
じゃないかな
隊長が
ご説明して
頂きましょう
っ!!!
リドナに
この
請求書の
内容と量は
一体何です
!?


説明…って
見た通り「飲み屋」と「女郎屋」のツケで…
あの～～
ほぉ…
勿論俺一人じゃなくて皆の分で……
「清貧」と「貞節」を誓っているはずの修道騎士の貴方方が
どーしてそんな所に出入りするんです!?


そりゃ俺達生身の男だからして
自然の要求に逆らっちゃ体に悪くてだなァ
巡礼路を保安し異教徒から国境を衛る
誇り高き教会騎士団がそんなことでっ……


……リドウィナよォ
テンプル騎士団の団員ってもピンキリでな
由緒正しいお家出身のエリートもいりゃあ…


この砦にいる連中みたいにまともに騎士としての教育も受けてない
ロクに読み書きすらできない奴らもいるんだ
祖国のヨーロッパで喰いつめてこんな東のシリアやパレスチナまで流れて来て
名誉を得る最後の機会とばかりに騎士団に入っても結局は鼻つまみ者で
こんな敵と隣合せの最前線基地にいるのもやっかい払いをされたせいさ
さっさと戦死してくれればありがたい……ってな
そんな……


おまえとアラールも
似たようなもんじゃねェのか？
え…？
俺はここに飛ばされる前はエルサレムの本部にいた
ちょうど第2次十字軍でフランス国王夫妻が来た時に…な
それは……
王と王妃のかたわらにいた
おまえ達2人を確かに見かけた
あの後フランスに帰って
仏王夫婦は別れて
王妃の方は英国王と再婚したそうだが…


主が敵同士になっちまったんで仕方なく駆け落ちして来たのか？おまえ達は
……モリソン隊長っ!!
それ以上は…
巡礼路の途中
……わかってるって
悪かったもう言わねェよ…


道端で倒れてた若い男女を拾ったら


なんと これが変な夫婦で
特技は聖書の朗読と病人・ケガ人の治療…くらいです
家事は一切ダメだけど数か国語できる計算できる文書作れる
よしっ！
そしてここまで連れて来て
買ったァ!!!
俺って無敵…


現在じゃ すっかり
騎士どもと
砦の管理人
いーですか？
戦闘に備えてと皆の日頃の健康のためにハーブ畑を作ります
礼を執れっ
戒律を守れっ
ムダ遣いするんじゃないっ
しら〜〜ん
とにかく次からはこーゆー請求書は認めませんからね!!
今月も赤字です！
おかげでアラールと私のお給料出ないわ!!
いーじゃねーかここにいればメシ代も宿代もいらねーんだし
…だって
いつまでも甘えてお世話になってる訳にはいかないもの…
…まさかリドナここを出てく気なのか!?
母しゃま——っ
ごはんですよ——っ

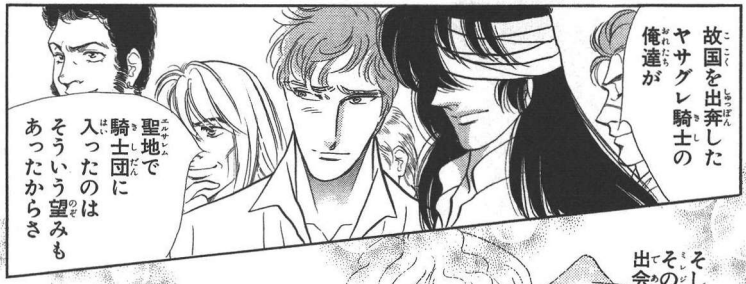

ミレジーヌ！
…っとと
母しゃま♡
……パリを出て
フランスから欧州各地を転々として
はい母しゃま
最後にシチリアの港から聖地巡礼の船に乗り
私に？
ありがとうミレジーヌ
再びこの地へやって来た


リドウィナ！
なぜこの地を目指したか
ハッキリと理由はない！
アラール！
どちらともなく言い出して
そのまま行動に移した
そして ここで
この娘を
授かったのだった
出てゆく!?
アラール達が出てゆく!?
ミレイがここからいなくなる!?


愛し合う
夫婦に
愛らしい
子供
そこにある
理想的な
「幸福な家族」
今までの人生
ロクなことが
なかった
それを
他人のせいに
するつもりは
ない
己の資質
こそが悪いのだと
わかっている
だが あの親子を
見ていると
こっちまで
いい気分に
なれる
ここに
巡り来るまでの
不幸にすら
感謝したくなる
！
なのに
何か
引き止める
のに いい手は
……
どうやる
!?
泣き落とし
でも
するのかよ
……
いや
それより
……


「代父」!?
ミレジーヌの「代父」になりたい!?
貴方方みんな っ!?
うん
うん
この砦の者全員じゃないの!!
どうだろうか? アラール リドウィナ
で…でも父親になりたければ
子供が欲しいなら
還俗して結婚でもした方がいいんじゃ…


「聖地巡礼」ってのは魂の救済であり
少しでも聖地の近くで死にたいということでもある


故国を出奔したヤサグレ騎士の俺達が
聖地で騎士団に入ったのはそういう望みもあったからさ


そして思いがけずその子の誕生に出会った
愛して慈しんで
成長を見守って来た


俺達にはミレイこそが救いだ!
聖地で見つけた赤ン坊
主だ!!


いずれおまえ達親子がここを出て遠く隔たるのだとしても
何か確かなつながりみたいなものが欲しいんだ!!


やはりダメだろうか……?
リドウィナ!
アラール!
アラール?
…俺はかまわないけど……


じゃあ父しゃまは?
もうミレイの父しゃまじゃなくなるの?
違うよ
父様は死んでもミレイの父様


みーんなミレイの父しゃまになるの?
ミレジーヌは?
そうよ


より親くおまえの傍にいたいんだ彼らは
魂が淋しいから傍にいたい
…俺には彼らの気持ちがよくわかるから…
ミレイは彼らのお陽様なんだってさ
うん！
いいよ
!!
父しゃまがいっぱいだね！
リ…リドウィナ
!?
ミレジーヌがいいなら
私もいいわ


あっ
ありがとう
っ!!
アラール
!
リドウィナ
!
ミレイ!
ミレイ!!
俺達は
頑張る
からな
っ!
きっと
おまえの
「代父」として
恥ずかしくない
人間に…
手柄を
たてて
出世して
……
言葉通り
その日を境に
彼らは変った
荒くれを
寄せ集めた
愚連隊から
規律正しい
勇猛果敢な
精鋭隊へと


そして幾度となく異教徒軍を撃退したが
すでに敵の攻勢は止めようがなかった
偵察が戻って来たぞ！
どうだったっ!?
東の岩場に集結してる！
明日にでも砦に一斉に寄せて来る構えだっ!!


大軍だっ!!
この人数じゃとても防げんっ!
さっさと逃げた方がいいっ!!
隊長っ
下の街の連中は!?
とっくに逃げ出してます!!
もう誰一人いません!
よし!!
準備しろ!
俺達も闇にまぎれて今夜脱出する!


アラール!?
父しゃま!?
ダメよ!きいたでしょ!?
砦の外は危ないわ!
どこへゆくの!?アラール
ちょっと薬草園まで!
すぐに戻るから!


こっちで見つけて
栽培している途中の薬草があるんだ！
あれをどうしても持ち出したいんだ！
だったら私達も一緒に…
本当にすぐだから!!
2人して仕度して待っててくれ
父しゃま！
アラールッ……
それが
父・アラールを見た最後だった…


火矢っ!?
敵襲だっ!
敵襲だぞ——っ
夜襲をかけて来るとはっ…
くそっ
モリソン隊長!
アラールがっ……
アラールがまだ薬草園から戻ってないのよっ!!
何イっ!?


下の街に火を点けたな…!!
ダメだ
とてもじゃないがアラールを捜しになぞゆけねェ…
そんなっ…
砦の裏側から岩山伝いに逃げるぞっ
来いっ リドナ ミレイ
ダダダ
……
いやよっ

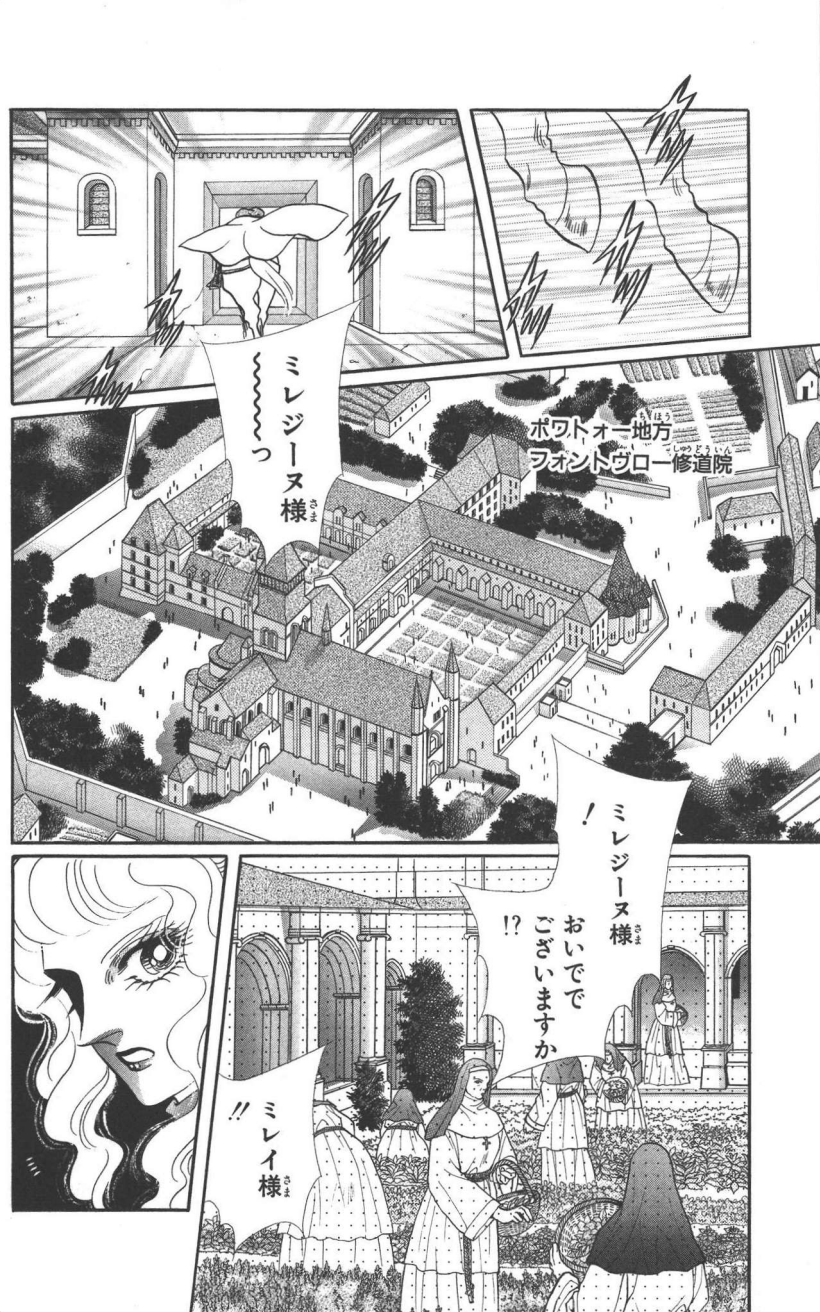

母しゃま
母しゃま！
リドウィナ!?
私は残るわ！
残ってアラールを待つわ!!
バカを言うなっ！
来るんだっ!!
その時
いやァ……
母・リドウィナの涙を初めて見た
アラールッ……
イスラム軍に追い立てられながら
闇に乗じなんとか私達は逃れ
エルサレムに着いた


リドウィナ
ミレジーヌ
じゃあここでお別れだ
ミレイ
貴方方は？また国境へ？
ああ別の砦だが
元気でな
俺達はどこにいてもおまえのために祈ってるからな
うん父しゃま達もね
これからどうする？
このままエルサレムにいるか？
…いえ
故国へ帰ろうかと……
母しゃま？
…そうだなそれがいいかもしれん…
フランスへか？
いいえ大丈夫
帰国の巡礼団に加えて頂きますから
…あ…あのなリドナ……
せめて欧州への船が出る港まで送ってやりたいが……


その…
もし…
もしも…だ
アラールを見つけたら……
どうしたら……
おそらくは薬草園への途中 敵軍に捕えられただろう
父が生きている可能性はまずなかった
それは……
た…隊長
アリエノール様の所にいるからと
伝えて…
なかつたが
アリエノール・ダキテーヌ
アキテーヌ女公にして英国王妃
欧州一の権力と美貌の女……か
わかった
これ以上明確な居所はないな
果して 母はこの時少しでも信じていたのだろうか？
アキテーヌ公？
もし…と
アリエノールしゃま……？


そして再び
この地に巡り来る
機会があると
したら 私は…
2人とも
達者かな
…近付いてますね


何がじゃ？
レニエ
王子様の
運命が
リチャードの!?
俺の…
運命……？
これが…？


ミレジーヌ様〜〜〜っ
ボワトォー地方
フォントヴロー修道院
！
ミレジーヌ様おいでございますか
!?
!!
ミレイ様


まあ！
何事で
ございま
しょう!?
ミレジーヌ
様っ
どちらです
!?
…あの声は
修道院内を
あのように
大声で…
リチャードの
従騎士の
ロビン…ね
ここよ!!
ロビン！
おおっ！
ミレイ様
こちらに
……
リチャードに
何か
あったの!?
は…はい
殿下は 本日
狩りの最中
……
折悪く
流れ矢を受け
……
未だ鏃の
先が体内に
残ったまま
……
どの医師にも
手を付けさせず
……
……
なんで
すって!?
すぐ
ゆくわ
!!
あ…ありがとう
ございます!!


…あれっ
いけませぬ
リチャード殿下
よいから
来い！
おケガに
障るのでは
ございませぬか
……？
なに
これしき
毛程にも
感じぬさ
…来たか！
ミレイ!!


……
ロビン
これは本当にケガ人？
で…殿下！
治療が済むまではあれ程お慎み下さいと…
フン！
女を抱くくらい片腕で充分だ
もう取り出したの？
鏃は？
まだだ
まだ肩に入ったままだ
おまえが来るのを待ってたからなミレイ
ロビンお湯を沸かして
女をリチャードからはがして
外へ放り出して！
はっ
なっ…


来いっ！
女！
何をするの!?
無礼なっ！
出てゆくのだ！
一体何なの!?
あのような女医のごとき下賤な者の命令を
だまれ！
無礼はおまえだ!!
王子の従騎士である貴方方がきくなんて…
総院長の娘!?
ミレジーヌ様の母君はフォントヴローの総院長様だぞ!!
ご自身修道院の施療所の責任者をなさっておられる！
決して「女医」などではない!!
英国王妃アリエノール・ダキテーヌ様が「代母」となっておられる！
更には
つまりリチャード殿下の義理の妹君ということだ!!


リチャードをおさえつけて!!
はは っ
こらっ ミレイッ
動かないでよリチャード 手元が狂うから
ミレイ〜〜っ
おまえ〜〜っ
〜〜
グッ!!
ブシュ!!


痛い？
ねェ
リチャード
？
痛かったら
「痛い」って
言ったら？
……
誰が
……
これくらい
で…
我慢しなくて
言ってもいいのよ
リチャード
私
もう
初めて会った頃
みたいに子供じゃ
ないんだから！
絶対に
言わんっ!!!


娘のミレジーヌでございます
初めて会った時
三男のリチャードじゃ
お久しゅうございます
アリエノール様
この男の印象は
タタタ…
リチャード
ようやく戻ったのリドウィナ
息災で何より…
リチャード？
お…王子様？何を……
無遠慮で！


来いっ！
強引で！
きゃっ
遊んでやる!!
ミッミレイ
リチャード様
尊大で！
ズル
ズル
乱暴で！
これ！リチャード
相手は女子じゃ
手荒くするでないぞ!!
殿下！
おまえ達も来い！
森へゆくぞ!!
王子王子！
その娘だァれ!?
リチャード様ァ！


およそ
最低(さいてい)だった



フォントヴロー大修道院

隠者ロベール・ダルブリセルによって創設された教団。

一一〇五年、教皇が承認。男女の修道院であるが（聖堂をはさみ当然男女別々の建物で暮らす）特筆すべきは頂点に立つ大修道院長は男性ではなく女性であることだ。しかも「処女ではなく結婚の経験のある未亡人を」とダルブリセルの遺言として明確に記されている。

初代はペテロニーユ・ド・シュミエ。（2代目はヘンリー2世の叔母マチルダ・ダンジュー）

設立当初は3・4百人程だったが12世紀中盤には5千人以上にふくれ上がった。当然大修道院長となった女性はキリスト世界において強大な権力を持つことになる。


……
何なんだ
あやつらは…


ワイ
ワイ
ワイ


……


俺の従者のくせに!
あの女にばっか!!
だってあの娘かわいいもん!
あんなかわいい娘見たことないもん!!


ロビン!
ね!?
リチャード様もそー思うでしょ?
だからあの娘仲間に入れて連れ出して来たんでしょ!?


あいつより母上の方がきれいだ！
それは…
だって王妃様は欧州一お美しい方で…
さっき会った
あいつの母親もきれいだった…
当然…
あの娘があんなにかわいいんだもん
そりゃあ……
あいつはきっと
もっときれいになるな…
なのに！
奴らからあんな貧相な花嬉しそうに受け取って
全然似合わないじゃないか!!
俺ならもっと…
…もう
…だったら貴方も贈ってみたらどーです？


確かこっちに赤くてもっときれいな花が…
あった♡
ん～～～
リチャード様
僕がしますから…
うわっ
殿下!?
リチャード様!?
ズザザザザ…


……っちい
頭から突っこんだァ……
てててっ
危ないぞ！
リチャード様！
大丈夫ですか!! 殿下
今すぐ降りてゆきますから！
廻って来いよ
リチャード様そこ動かないで下さいよ！
誰か城に知らせて来い！
わっ！ミレジーヌ!?
スカートまくって……


……おまえって…
トー!
なっ何をっ
プ
よかった骨はポッキンしてないね
ホ…
待っててね
トトトっ

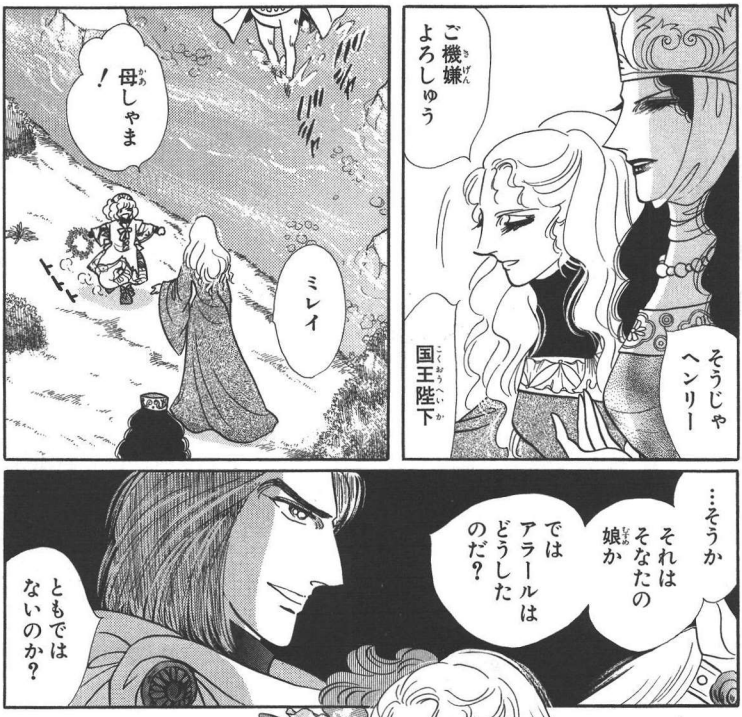

わっ
ヒルキャ
タタタ
ゴシゴシゴシ
……
ポタ
ポタ
……
もしかして
キズロを洗ってくれたのか……？
ん～～とォ
どれだっけかな？
あっ！
これだっ!!
はむっ


はむ
にが……
はむ
はむ
？
ハィ
いきなり
何すんだ
〜〜っ
痛いじゃ
ないか
〜〜〜〜っ
パ〜ン
…え!?


痛いの…？
なんだよ!?これはァ!!
あったり前だろーが!!
どーして痛いの!?
しみるんだよ！
ひどくな!!
よくも こんな怪しげなモンをこの俺に…
こんな小さな傷が痛いの!?
父しゃま達はもっとひどいケガでも平気だったわよ!!
父しゃま達!?
リチャード!?
そこにおるはリチャードか!?


……
父上!?
国王陛下!!
どうした?
そんな所で何をしてる?
ヘンリー2世様!!
父上!
父上!!
おわっ
なんだ?
なんだ!?
その顔は!!
ハハハハハ
何を付けてる?
ん?
ほお?
これが薬草だとよくわかったな


薬草…？
ホント!?
父上！
おお
戦場で
兵隊達もよく
ケガに使うぞ
どーして
あいつが
そんなことを
知って…
戦場!?
リチャード！
無事かえ!?
アリエノール
母上！
…と
まさか…
リドウィナ？


そうじゃヘンリー
ご機嫌よろしゅう
国王陛下
ミレイ
母しゃま！
トトト
…そうか
それはそなたの娘か
ではアラールはどうしたのだ？
ともではないのか？
あのね！
あのね!!
母しゃま！
……
あの子変なのよ！
父しゃま達にしてあげたお薬で「痛い」ってゆーのよ!!


すごくすっごく
大きな声で
言ったのよ！
男のくせに
とっても
弱虫なのね!!
なっ…
おっ…
リ…
リチャード
!?
よっ…
そのような
ことを申したは
そなただけじゃ
ミレジーヌ
リチャードが
「弱虫」とは…
これはよい
弱虫
弱虫
弱虫ィ
彼らは
修道騎士と
言って 特に
特別な戦士で
……
ミレイ…
あんな
小さな子と
彼らを比べては
ダメよ


俺がっ……
弱虫っ…
よくも――っ
――あの日以来
どんなケガでもリチャードは「痛い」とは言わない
絶対に言わない
…うっ
ぐっ
ぐううっ

そんなことは
無意味だと

ポロ…

現在は　もう
充分に
わかって
いるけれど
……

取れた
わよ

血は
止まったから
こっちの
化膿止めを
日に数回
換えて

ひどく
痛むようなら
これをグラスに
一杯飲ませて

キズ口が
ふさがるまでは
安静にね

お酒は
勿論
女も
ダメよ

はっ

…俺は
猛獣か!?

見張り付けて
逃がさない
のよ

なんなら
檻に…


ミレイィ
帰るのかァ？
施療院には
患者が
待ってるのよ
俺も
患者だぞォ
王家には
専任の医師が
何人もいるでしょ？
後は 彼らを
呼びなさい
俺はおまえが
いいんだよ
…なァ
「痛い」って
言ったら
傍にいて
くれるか？
だったら
言ってもいいぞ
リチャード
……


…なァ…
いいかげん
ポワティエ館に
戻って来いよ
リチャード
……
おまえ自身は
修道女じゃ
ないんだから
修道院暮し
なんかしなくて
いいんだから
俺の気持ちは
昔から
知ってるだろーが
!!
全然
変ってない
ぞ!
傍に
いてくれよ!
そうすれば
もう無茶は
しない!
おまえの
いうことなら
何でもきく!!
おまえさえいれば
他のどんな女も
要らないんだ!
愛してる!!
ミレジーヌ!
結婚してくれ
!!
……
キズのせいで
発熱して
変なコト
口走ってるわね
ミレイ
……っ
!!!


ハイ
これ
持ってなさい
ラベンダー
カモマイル
ライラック
ローズ
レモンバーム
何だ
…？
この
小袋は？
匂袋よ
中に色々な
干し花が
入ってるわ
気分が
落ちついて
安眠できるし
痛みも
少しだけど
和らぐわよ
…おまえの
匂いだな
キズの
具合を
見に また
近いうちに
来るわ
本当だな
!?
ええ
リチャード
きっとだぞ！
ミレイ


ミレイ!?
それに来るはミレジーヌかえ？
アリエノール様……
レニエ
リチャードの負傷の知らせで今着いた
治療は終ったのかえ？
ミレジーヌ！
リドウィナは元気かえ？
はいどうぞお会いになって下さい

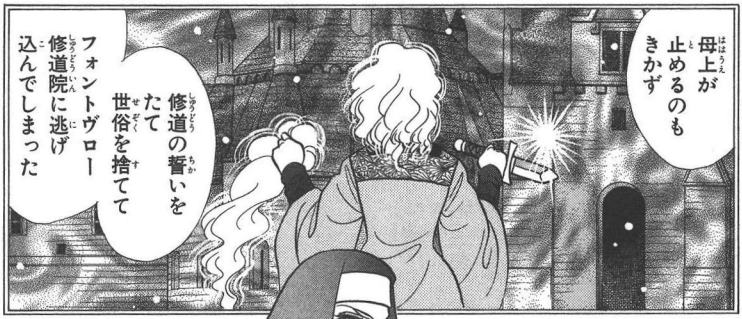

元気ですよ
毎日 修道院の
収支を計算して
所有の荘園を
見廻って
修道士と
修道女達を
監督して
孤児院の
子供達と
遊んで
父のために
祈って…

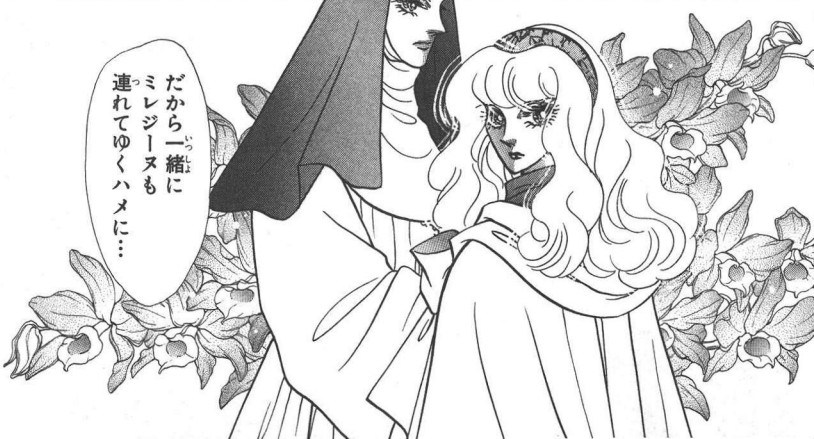

どうやら
フォントヴロー
での暮らしは
すこぶる
母に合って
いるようです


ですから
貴女様も
あまり
お気に
病まず
ミレイ
……
どうぞ
お好きに
母に会いに
いらして下さい


触るな！
レニエ
そのキズ
わずらわしくて
おいでしょう
？
しかし
殿下
いいんだ
！
おまえが
完治させたら
ミレイが
来なくなる
だろーが!!
リチャード
……
リドウィナが
ポワティエ館の
城代になって
俺が母上から
ポワトォーと
アキテーヌの
領地を継いで
くそっ！
なんだって
こんな
ことに!!
ずっと あの館に
ミレイと
いられるはず
だったのに!!
畜生
！
全部
父上の
せいだ!!
あの
好色親父
!!


父上が亭主のいなくなったリドウィナに言い寄ったりしたから
彼女は母上との間で板ばさみになって


母上が止めるのもきかず
修道の誓いをたて世俗を捨てて
フォントヴロー修道院に逃げ込んでしまった


だから一緒にミレジーヌも連れてゆくハメに…

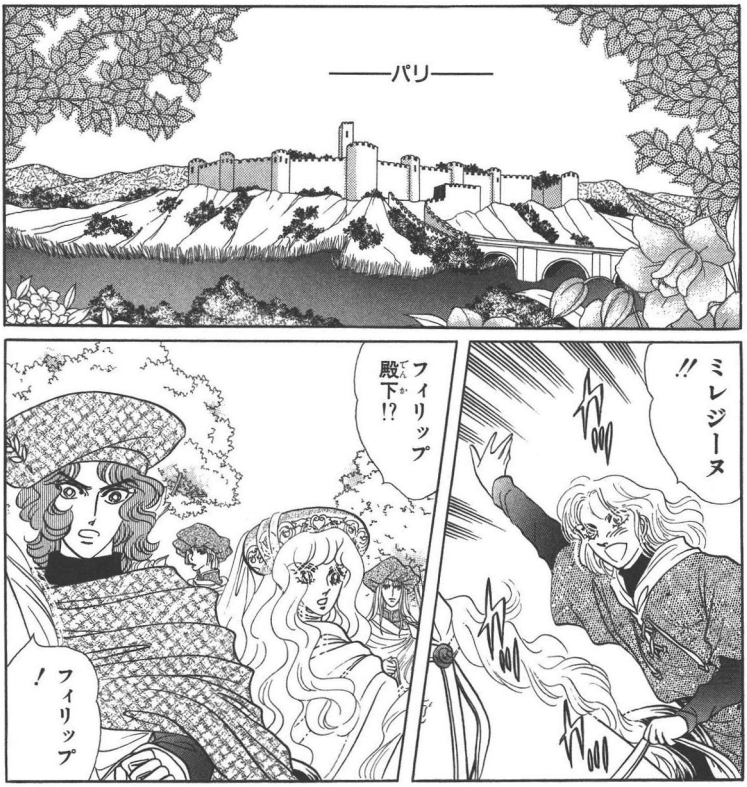

おれはなんとか
ミレイを
呼び戻そうと
過重な
騎士修業で
心配させたり
酒や女に
溺れた
フリを
してみたが
ミレイの奴
俺の性格
見切ってやがって…
妾を
裏切るか!?
ヘンリー
結婚の
折の
誓いを
ともに
カペー王家を
倒し全仏領を
手に入れるのでは
なかったか!?
母上に
しても
この件を
どれ程
哀しまれたか
父上が
何年も前から
英本国に公然と
愛人を囲っておる
だけでも
お苦しみなのに
許さない
…!
俺は父上を
許さない…!!
俺からミレイを
引き離したこと
いつか
思い知らせて
やる!!


ならば父を
倒すか
リチャード
ヘンリーが
おらねば
そなたが王じゃ
王になれば
何でもそなたの
思いのままじゃぞ
ミレイに
僧院を出よと
命令するもなァ
は…
母上!?
叛逆


……
でも
母上にもらった
ポワトォーと
アキテーヌの
軍隊だけじゃ
到底
父上には
かなわない
簡単じゃ
強力な味方を
作ればよい
味方!?
誰を!?


敵の敵は味方じゃ！
貴女の元・夫を!?
貴女があれ程に憎んでいる仇を!?
アリエノール様がリチャード様とともにヘンリー王に反旗を!?
母上っ…
ヘンリーの敵はフランス
なればフランス国王ルイ7世を!!


なんという
こと…!!
夫婦・親子で
戦なぞ…
母様…
リチャード
……
愛してる!!
ミレイ!
おまえを
手に入れる
ためなら
俺は何でも
する!!



英王リチャード1世と仏王フィリップ2世は幼馴じみである。英王ヘンリー2世を（リチャードの父）倒すまでは非常に仲が良かった。良すぎて同性愛の噂まである。実際リチャードにはその性癖があった様だが庶子を一人（男子）儲けている史実から男しかダメということはない…と思う。

1998.3.29
河惣益巳


ミレジーヌ
ミレジーヌ
！
遅かったね
！
待ち
かねたよ!!
よく今日
着くと
わかったわね
王太子殿下自ら
わざわざ城外まで
お出迎え？
うん
！
ポワトォーから
来訪の使者が
来た日より
街道に
兵を立てて
見張らせていた
一刻も早く貴女に
会いたかったから
光栄です
殿下
さあ!!
はやく
ゆこう！
父上が城で
お待ちだ
！
おいっ！
こらっ!!
待てっ!!!
フィリップ


おや
そこにおいでだったのか？リチャード殿下
一体おまえ誰を「迎え」に来たんだ!?
俺か!?
ミレイか!?
使者を送ったのは俺だ！おまえの父フランス王ルイ7世に会いに来たのもこの俺だぞ!!
リチャード
勿論ミレジーヌです
英王太子たる貴方の迎えはちゃんと城門の前に待っている
フランス王太子たる僕が彼らの役目を奪ったりはしませんよ



アリエノール・ダキテーヌは英王ヘンリー2世との間に5男3女・8人の子を儲けている。

生誕年

1153 ウィリアム 3才で死亡
1155 ヘンリー
(~83) 〃
フランス王女 マルグリット
1156 マチルダ
(~89) 〃
ザクセン公 ハインリヒ
1157 リチャード
1158 ジェフリー
(~86) 〃
コンスタンス・ド・ブルターニュ
1161 アリエノール
〃
カスティリア王 アルフォンソ8世
1165 ジャンヌ
(~99) 〃
①シチリア王 グリエルモ2世
②トゥールーズ伯 レイモン5世
1167 ジョン
〃 (欠地王)
①イザベル・オブ・グロスター
②イザベル・ダングレーム

(〃は婚姻関係 ①②は結婚順序)


やめなさいっ
2人ともっ
ギャア
ギャア
ギャア
子供同士の
ケンカは
放っておいて
こちらへ
ミレジーヌ
フロリュス
おじさま!?
フロリュス!
何だ!?
おまえは
王が君の到着を
首を長くしてるのは
事実だから


ホラホラ
王子様方
いつまでも
グズグズ
なさっていると
おいてゆきますよ
英王との対戦に
今まで敵対していた
仏王ルイ7世と
同盟するため
少しでも緩衝にと
ルイ王の
気がかりである
ミレジーヌを
無理矢理
ひっぱって来たが…
まっ
待て!
ミレイ
を…
こ…こら
フロリュス
おまえ 僕の
養育係の
くせに
……
そう
だった!
シテの王城には
こいつがいたんだっ!!


アリエノールとヘンリーが遂に決裂
そして対決…か
…成程
……ルイ7世
この男
ヘンリーに愛妾ができたときいた時
いずれ2人はダメになると思っていたが…
母上をよくわかってる……
あれの気の強さと誇り高さはけっして裏切りを許さぬだろう故…な


しかも かつて
あれ程嫌って離婚れた
私と手を結んでまで
報復を…とは
深く
強い
愛憎だ
ヘンリーも
よくぞそこまで
憎まれたものだ
よかろう
リチャード
君に手を
かそう
父上
！
だが
誤解するな
それは
アリエノールの
ためでも
君のため
でもない
フランスの
ためだ
ルイ7世殿
……
君達
英王室が
夫婦・父子で
戦ってくれて
いる間は
我がフランスを
攻める暇はないと
いうことだから


そして
リチャード
私は この盟約の
保証を要求
したいのだが
保証
……!?
〝おお
貴婦人よ
我れ 汝が
ためにあり
また
ありなん
汝が意のまま
我れ仕えん
我れは誓う
汝の下僕となりて…〟
ヴァンタドールの
詩ですね
アリエノール様が
英王妃に
なられた頃の
一番
華やかで
美しかった
今は君のために
吟じているんだ
ミレジーヌ
だまって
ききたまえ
チッチッ
クスクス
はい
そろそろ縁談など
いくつも持ち上って
いるんじゃないのか?


君ならば さぞかし
引く手あまただろう
ミレイ
リドウィナと
アリエノール様の
後ろ盾があれば
どんな高貴な
相手でも…
フロリュス
おじさま…
リチャードを
いい気に
させちゃう
のが ひどく
シャクだし
好きですよ
もう
ずっと
でも
それを
告げたら
あの頃
から…
…君は
リチャード殿下が
好きではないのか？
ミレジーヌ
……
今のところ
求婚者は
リチャード一人
だけです
他に
いたとしても
リチャードに
恐れをなして
申し込みには
来ないで
しょうね
…きっと
ミレイが
欲しけりゃ
来い!!!

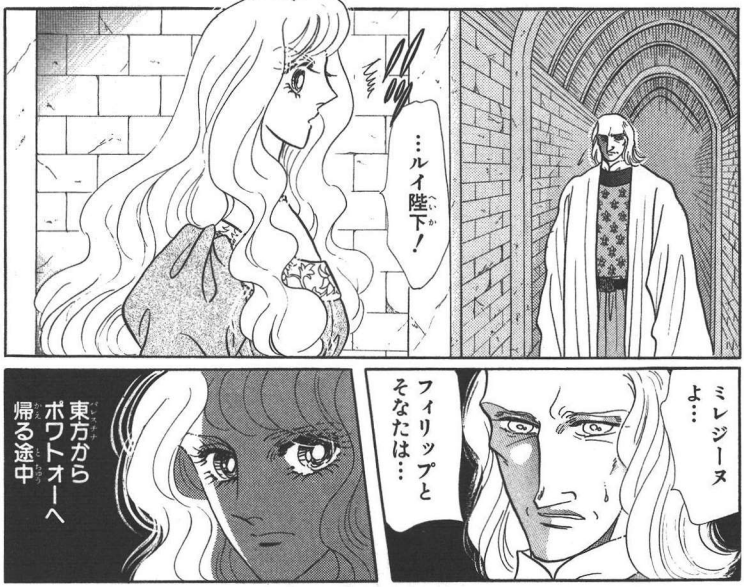

告げても……私達は結婚できないから…
リチャードを失望させるのはとても可哀相…
君達が結婚できない…って
……ミレイッ
どこだ!?ミレジーヌ
なぜそんな……
ポワトォーに帰るぞ!!ミレイ!
今すぐだ!来いっ!!
殿下!?
リチャード!?

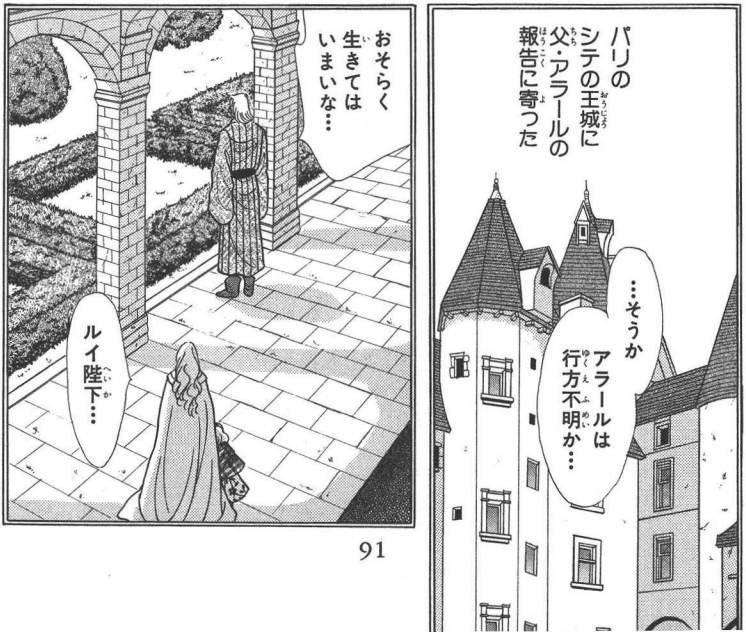

どうしたの!?
ルイ陛下と何かあったの!?
どーもこーも…
何が「盟約の保証」だ!
ふざけるなっ!
あんな条件がのめるかっ!!
私から陛下にお願いできるなら…
お前は知らなくていいっ!!
条件!?
条件って何!?
「助力の代わりに私の娘を娶ること」
つまり僕の異母姉との結婚
これが父上の出した唯一の
そして絶対の条件だよ
フィリップ貴様っ…

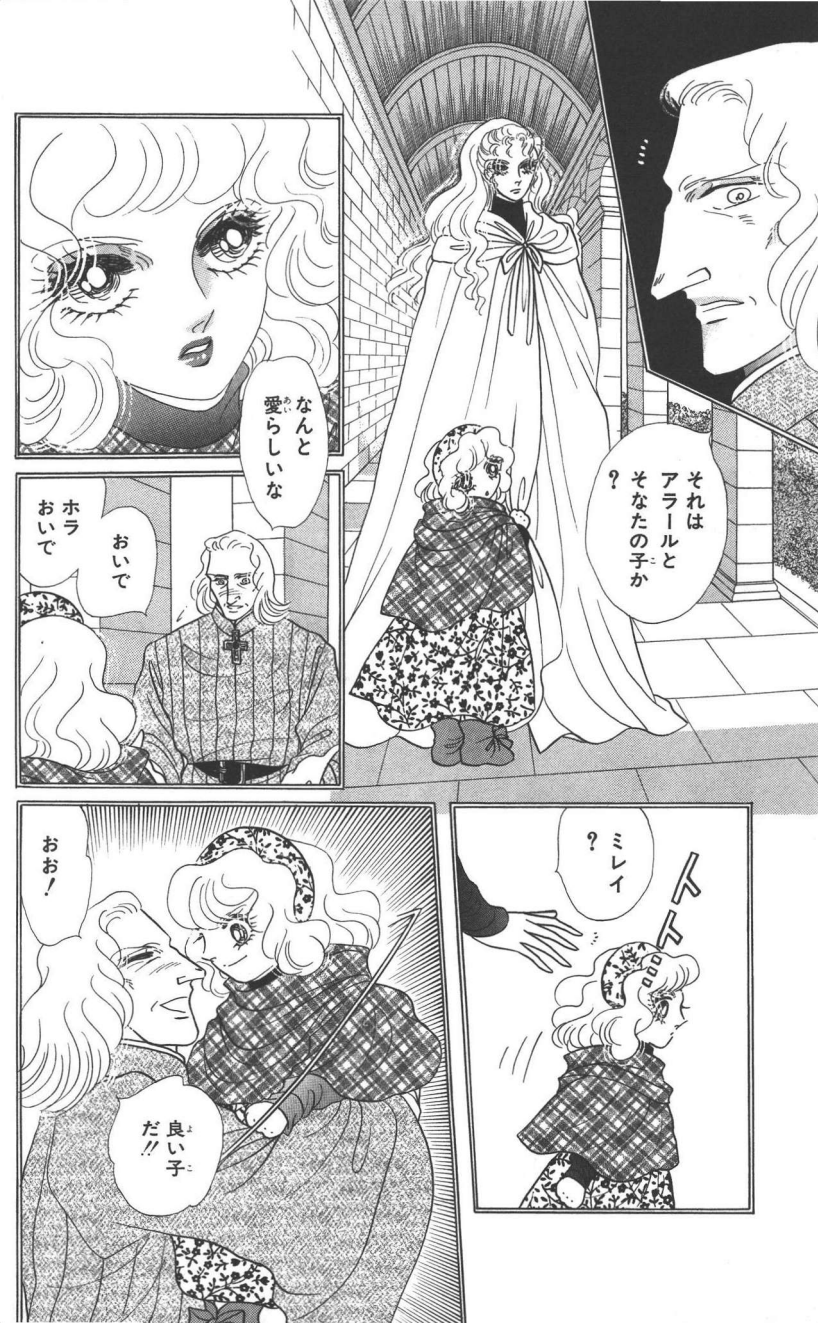

英国王子と
フランス王女との
婚姻
同盟の
ことを
ヌキにしても
釣り合いのとれた
申し分のない縁談
フィリップ殿下の
異母姉君というと
ルイ陛下の
2人目の王妃である
カスティリア王女の
(スペイン)
お産みになった…
…でも
強制なんか
すると
リチャードの
性格からゆくと
かえって…
誰がおまえの
姉なんかと
結婚するかっ!!
俺は
ミレイとっ…
貴方と
ミレジーヌは
結婚できないよ
リチャード
だって貴方は
「兄妹」だもの


なっ…
にィ…!?
アリエノール・ダキテーヌを
「代母」に持つ彼女と
貴方とは
「義兄妹」だ
「関係」は
解消できても
かっての
「親子」「兄弟姉妹」の婚姻は
教会は認めてくれないよ
ミレジーヌは
貴方なんかに
渡さない!
僕が
もらう!!
何を
バカなっ
……
何が
バカなの?
何より僕は
彼女を
愛してるし
貴方は
フランス王女を
僕は
アキテーヌ女公の
「義娘」を
これ以上は
ない 二重の
保証だよ
だまれっ
フィリップ


最初に会った時から気に喰わなかったが
言うにコト欠いてこいつ
ミレイがおまえみたいな年下のチビ相手にする訳あるかっ!!!
2つや3つ年下で何が変なの!?
貴方の父親だって十も!
その先代は15も下だったってきいてるよ!!
このクソガキ
まだ言うかァ
もう止める気もないな…
なんとも豪勢な求婚者だな
どちらも王位継承者
どっちを選んでも「王妃」になれる
それともアリエノール様みたく
アラールと違い
あのリチャード様なら教会の掟など意にも介さぬだろうよ
「2つの王冠」を戴いてみるかね?
フォントヴロー総修道院長を実母に持つ私は
そう簡単にはゆきません
フィリップ殿下にしても…


…ルイ陛下！
ミレジーヌよ…
フィリップとそなたは…
東方からボワトオーへ帰る途中


パリのシテの王城に父・アラールの報告に寄った
…そうか
アラールは行方不明か…
おそらく生きてはいまいな…
ルイ陛下…


……
それは
アラールと
そなたの子か
？
なんと
愛らしいな
おいで
ホラ
おいで
トトト
ミレイ
？
おお！
良い子
だ!!


恋
アラール!!
王しゃま?
アラール!
キュウ…
あれは私の甥だ
あれの母は私の父の庶出の娘で
私の腹違いの姉に当たる
陛下…
叔父上……
それは美しく優しい方で幼い頃の私の憧れだったのだ
すでに婚約者のいた彼女が近親の修道僧と恋をしたのが罪だというのなら
先は破滅とわかっていても……
止められぬ甘い想い…
私も同罪だ
私の初恋は姉だったから


リッ
リドウィナ
！
この娘
私にくれぬか!?
陛下!?
大事に
する！
代父なり
養父なり
アラールの
代わりに
なる！
アラールの
ように
不幸になど
させぬ！
いずれ正式に
王家の者として
よい相手と
娶せて…
あっ…
母しゃま！
タタタ…
ご厚意だけは
ありがたく
陛下
ですが
それ以上の
お気遣いは
どうぞ
ご無用に


私と
アラールが
出会った
ように
この娘にも
用意された運命が
必ずある
陛下も
おわかりのはず
恋したことの
ある者の
人生は
不幸ばかり
じゃない
…甘い想い
リドウィナ
……
姉上への
それも
アリエノールへの
それも
…ああ
ああ
そうだ
そう
だった…
ただ
望み通りの
結果に
ならなかった
だけだ…


だが もし
私で力に
なれるなら
いつでも
遠慮なく
申してくれよ
リドウィナ
はい
陛下
ありがとう
ございます
…そして
できるなら
フィリップス
ちゃん♡
だァれ？
ミレイ
心配だから
ついてって
……
英国の
リチャードだ
できるなら
時々は この娘の
成長を見せて
……


わかっています ルイ陛下
私の父は フィリップ殿下の 従兄
私と殿下の 等親も 近すぎる
だから フィリップ殿下も 私との結婚は 許されない
私は 英・仏どちらの 「王妃」にもなれない
ミッ ミレイ
そんな …… ミレジーヌ ……
何より 私は フィリップに 恋していない ですから どうぞ ご安心を
ミレジーヌ ……
…ミレイッ


ミレジーヌ
待てっ！
待てったらっ!!
ミレイッ…
……
いつだ!?
いつからわかってた!?
……
アリエノール様が私の代母になられた時
母さまが教えてくれたのよ


だからか!?
だからずっと俺を避けて…
……
済まなかった
ああっ俺が悪かったよ
なんとかする！
俺がなんとかしてやる!!
だから泣くな！
ミレイ
ミレイ…


ヘンリーのせいで
リドウィナを世俗から
離してしまった
故に せめてもの
詫びのつもりと
母親に代わり
あの娘に確実な
後見を
…と考えて
「代母」を申し出た
のじゃが…
…ついでに
息子のことも考えて
欲しかったです


だって
あの頃は
そなた達は
まだ子供で
仲もよかったが
ケンカも多くて
まさか
本気とは…


「義兄妹」の
関係が
取り消せない
のはもう
仕方ない
でも
世の中に
近親の夫婦は
いない訳じゃない
そうだろ
レニエ？
はい
確かに
教会の
特別の許可が
ある場合は


例えば？
主に高位の貴族や強い権力者の政略結婚です
かつてのフランス王ルイ7世とアキテーヌ女公のそれは最もよい例でしょう
今現在教会が一番して欲しいことは何だ!?
えっ…
教会に恩を売るんだ!!
俺とミレイの結婚を喜んで認める程の!
何をしてやればいい？
金か!?荘園か!?新しい聖堂の寄進か!?
教えてくれ!!
レニエ!


…そうですね
では 聖地など よろしいかと
ドラル
レ…ニエ…?
「聖地」!?
…いいだろう ルイ7世!
あんたの娘と婚約でも何でもしてやる!!
リチャード!?


その代わり
フランス中の軍隊を
かしてもらうぞ！
父上との戦
一気にカタつけて
俺は
聖地に征く!!
「聖地遠征」
つまり…
!!
「十字軍」
私の
故郷へ!?
エルサレム
へ!?
パレスチナ
へ!?
リチャード
……





ルイ7世の2番目の王妃である、カスティリア王女コンスタンスが産んだ二人の娘（長女・マルグリット　次女・アデライド）はともにアリエノールの息子達（次男・ヘンリー　3男・リチャード）と婚約した。

この二重の婚約は当然英国側の婚姻によるフランス吸収の目論見だったが、

（ヘンリーとマルグリットは（一一六〇年5才と2才で結婚）一一六五年3番目の王妃アデール・ド・シャンパーニュが王太子フィリップ（2世）を産んだことで水泡に帰した。

当時の習慣としては女性は婚約が決まると相手の家で養育される。

アデライトは義父王・ヘンリー2世の横恋慕もあり、（ヘンリーの子を産んだとの噂もある）

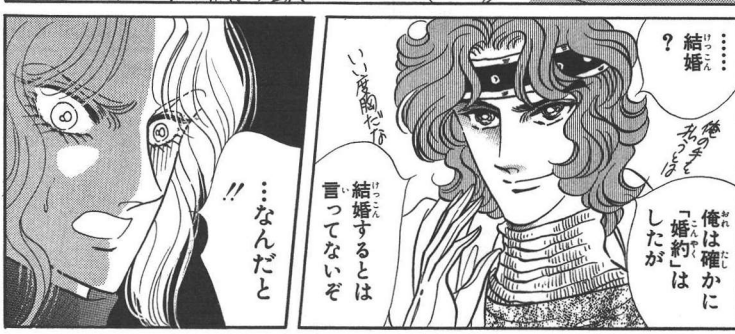
リチャードと結婚もできず、長く英王室内に人質同然に留め置かれ、後、フランスへ戻された。


……仕方ない
ルイの条件
ひとまずのんでやるか……
ひとまず……な
この借り!ただでは返さんぞ!
これを機会に俺という存在をフランス側に強烈に知らしめてやる!!
……誰だ!?
あの騎士は何者だ!?


あの血煙の中
獅子の如き闘い振りは
リチャード……
お！
フィリップ来てたのか


おっ…と
あまり気安く
呼んではいかんな
フランス国王
フィリップ2世陛下
皆がひれ伏す
やめてくれ!!
敬う気もない奴に
そう呼ばれても
気持ち悪いだけだ!


どうした?
何を怒ってるんだ?
とぼけるな!!
一体貴方は私の異母姉との結婚を
いつまで延ばせば気が済むんだ!!


……
結婚?
俺のまわりくどさを知っては
俺は確かに「婚約」はしたが
結婚するとは言ってないぞ
いい度胸だな
…なんだと!!


…私が…
結婚…?
なぜ…!?


リチャード
貴様っ…
よくも
そんな詭弁を
……
それに俺が
フランス王女と
結婚するより先に
おまえが
王妃を娶って
世継ぎを産ませる
方がいいと思うぞ


死んだ
ルイ7世には
王子は
おまえしか
いない
もし
おまえが
子供を
持たないまま
死んだなら
フランスの
王位は
どうなる!?


おまえの
姉妹の
夫
つまり
俺のものに
なる
それでも
いいのか?
リチャード
……


王女と結婚した後
俺におまえの暗殺を企てて欲しいか？
クククク
ん？
どうだ？
…世の人々に「獅子心王」と仇名される程の名高い騎士が
ずい分とあざといマネを考えるものだな!!
おまえ目障りなんだよ!! フィリップ
いつまでもミレジーヌに未練残しやがって！
さっさと他の女とひっついちまえ！ 2度とミレイに近付くな!!
リチャード……!!

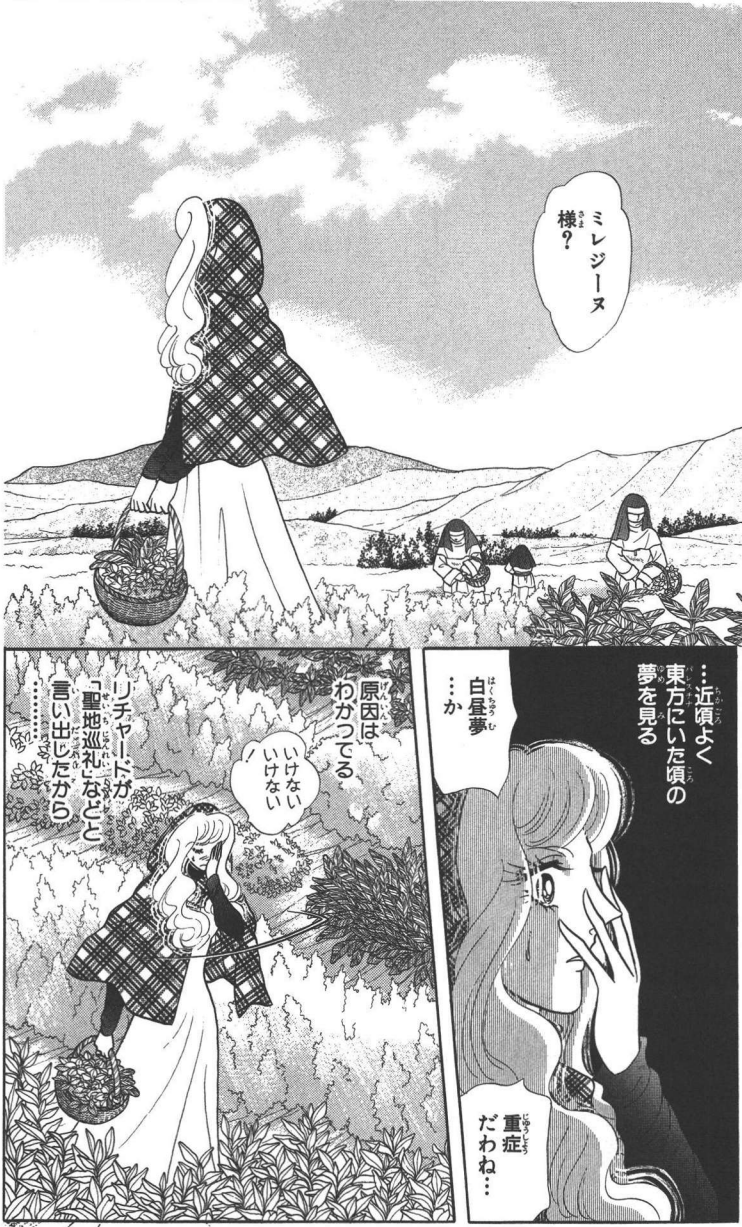
砂漠を吹き渡る
渇いた熱風

高く高く
澄みきった青い空

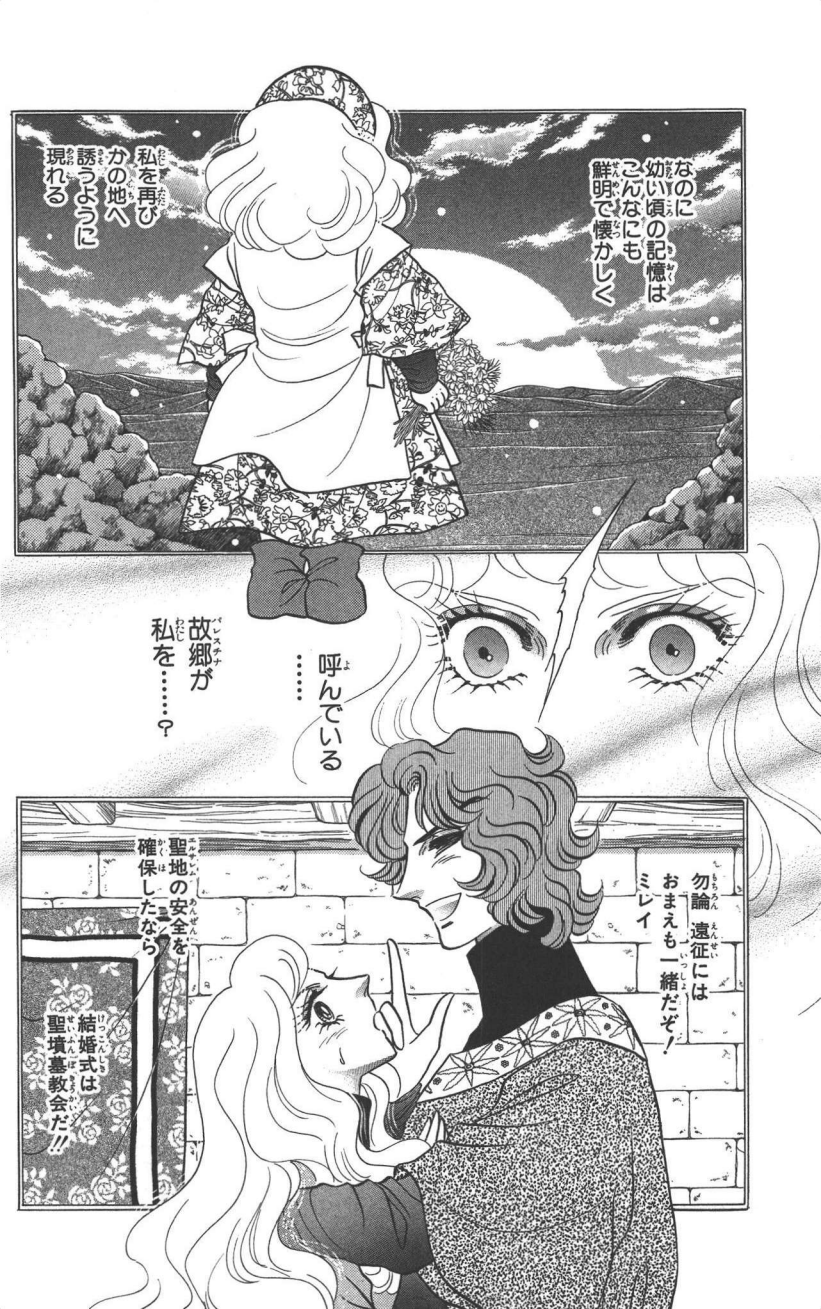
地平線に落ちる
大きな赤い夕陽




ここが
地の果てとも
思える荒野
パレスチナ
私の故郷……
…私の…

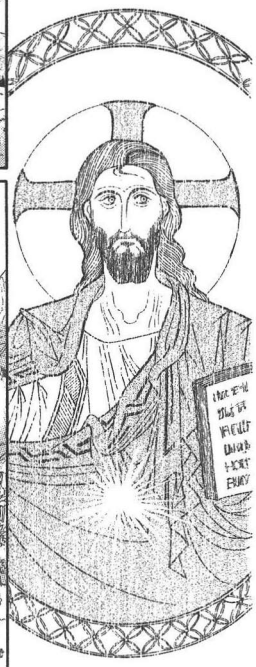

ミレジーヌ様？
…近頃よく東方にいた頃の夢を見る
白昼夢…か
重症だわね…
原因はわかってる。
いけないいけない！
リチャードが「聖地巡礼」などと言い出したから……


いかがなさいました？
ミレイ様！
とっくに忘れたと思っていた
なのに……
父さまの言った通り
フランスの自然は優しく美しくて
私はもうあんな苛烈な地に戻ろうという気は二度と起こるまい…と


なのに
幼い頃の記憶は
こんなにも
鮮明で懐かしく
私を再び
かの地へ
誘うように
現れる
呼んでいる
……
故郷が
私を……？
勿論 遠征には
おまえも一緒だぞ！
ミレイ
聖地の安全を
確保したなら
結婚式は
聖墳墓教会だ!!



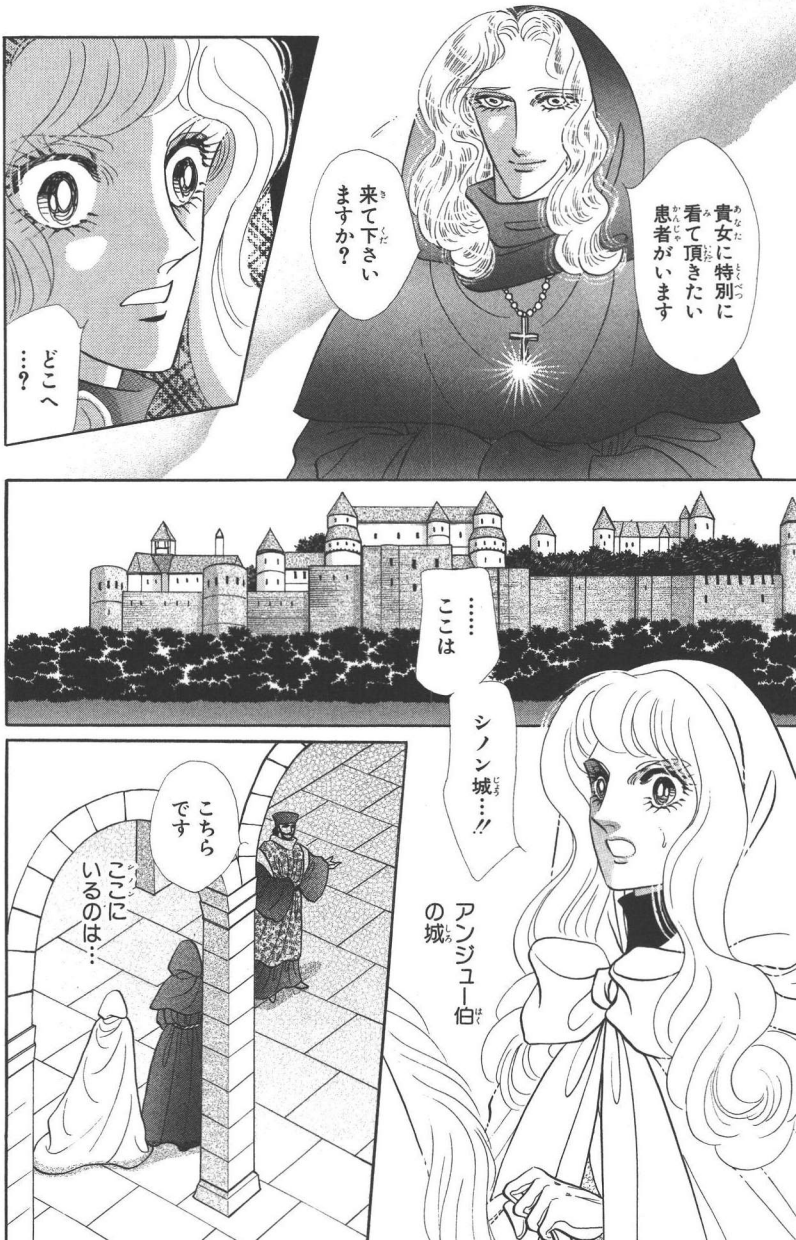
私とリチャード2人を…



聖地(エルサレム)が…!?

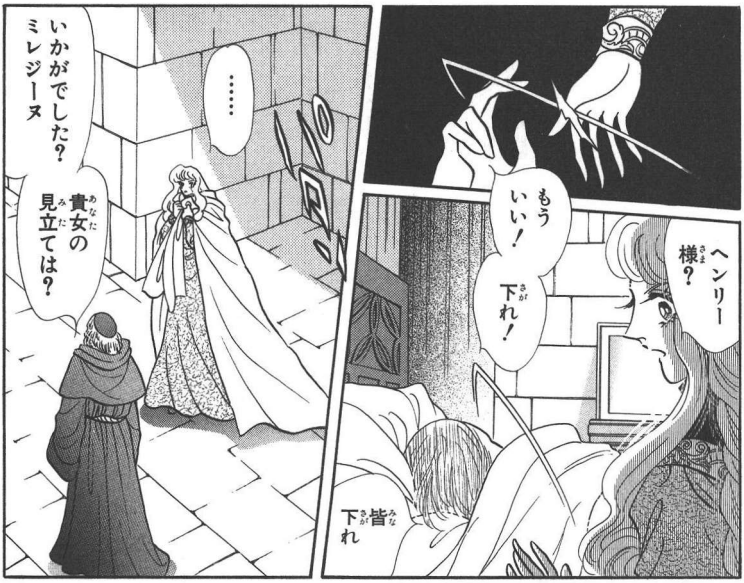




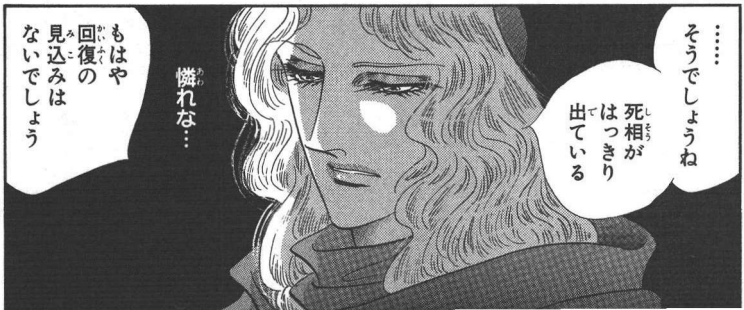

貴女に特別に看て頂きたい患者がいます
来て下さいますか？
どこへ…？
……ここは
シノン城…!!
アンジュー伯の城
こちらです
ここにいるのは…

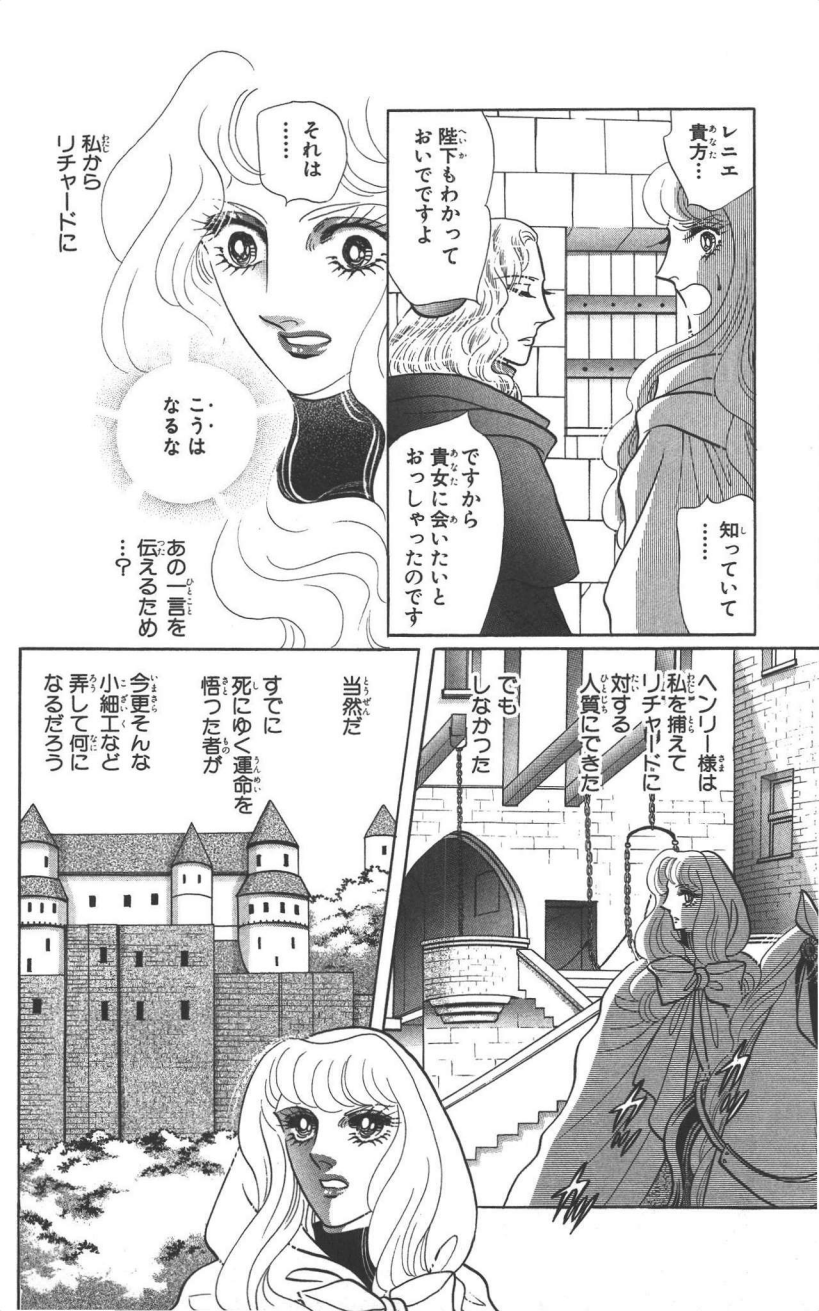

あの奥の扉です
お待たせ致しました陛下
陛下!?
やっぱり!!
ご希望通りポワトォーの名医をお連れしましたよ
フ…ン
ずい分面変わりしてるけど
女…か
いかついジジィよりはずっといいな
これはヘンリー2世


最も信頼できるはずの妻と子達との諍いは
長い間の孤独は
あの壮健で闊達だった騎士をこうまで残酷に変えてしまうのか!!
アリエノール様より十は若いはずなのに
十も老けてみえる
……リチャードに伝えよ
陛下?
こうはなるな…と


ヘンリー様?
もういい!
下れ!
皆下れ
……
いかがでした? ミレジーヌ
貴女の見立ては?


…おそらく
もう長くない…と
この先もうしばらくあの男は死の恐怖とも闘わねばらない


……そうでしょうね
死相がはっきり出ている
憐れな…
もはや回復の見込みはないでしょう


レニエ貴方…
知っていて……
陛下もわかっておいでですよ
ですから貴女に会いたいとおっしゃったのです
それは……
こうはなるな
私からリチャードに
あの一言を伝えるため…？
ヘンリー様は私を捕えてリチャードに対する人質にできたでもしなかった
当然だすでに死にゆく運命を悟った者が
今更そんな小細工など弄して何になるだろう

騎士には騎士にふさわしい生き方がある

そして死に方がある

故郷を追われた彼らでさえ

それを見つけるため

東方まで流れてゆかねばならなかった

リチャードにあんな生き方はさせない！

死に方もさせない！

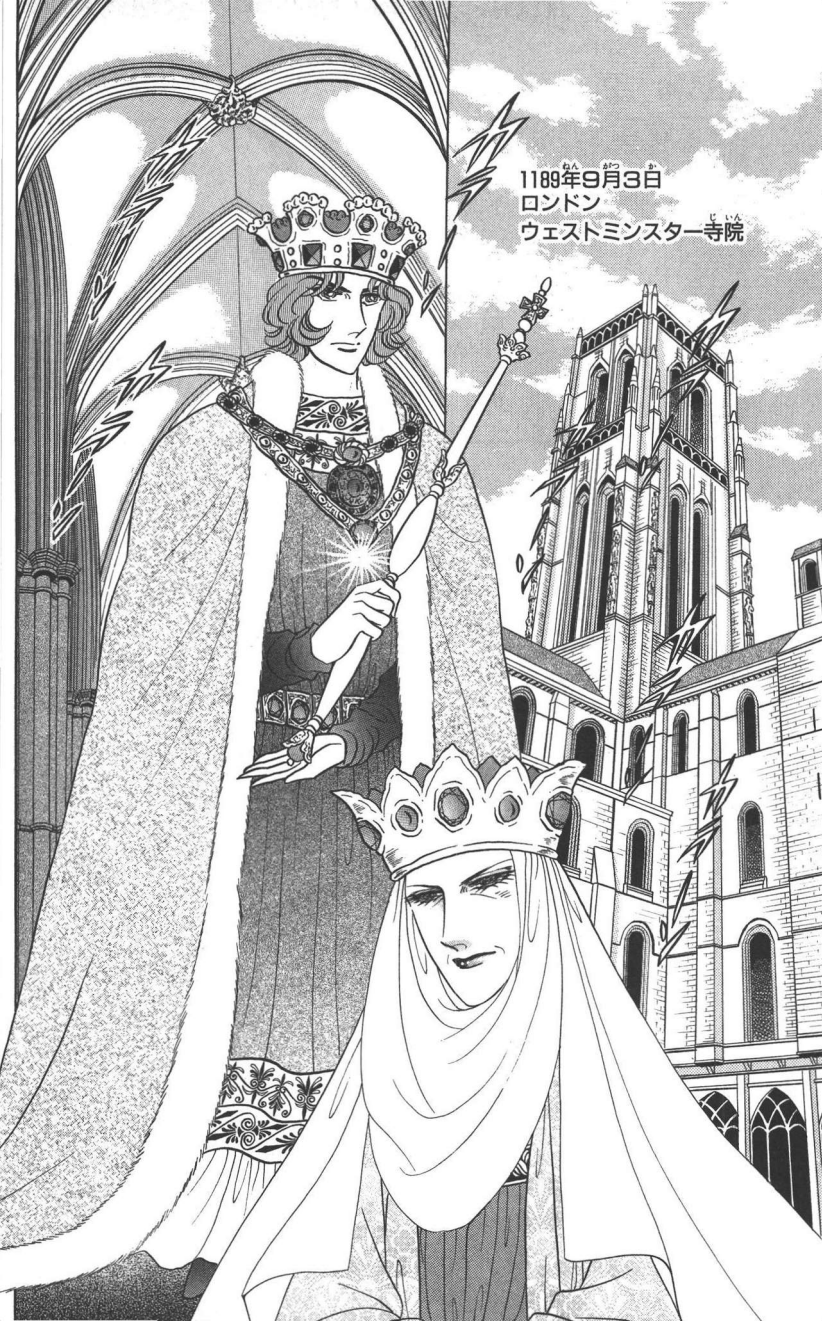
彼の栄光も誇りも名誉も私故にあるのだとしたら


あれは……
カッ カッ カッ
リチャードッ
ミレイ!?


ともに
生きる！
決して
離れない!!


くそっ
リチャード
めっ
どうしました？
フィリップ様
リチャード様
から何か？
…はあ
成程…
実に
お幸せ
そーな…
とことん
イヤな
奴だっ
わざわざ
送りつけて
来るなんて
～～～～っ
Love
Love
Love
Love


ですが こっちは
とうとう「離縁状」
ですよ
サラディンが
ついにエルサレムを
奪取したとか
聖地が
奪われた!?
ロビン!!
あの…
リチャード様
だけでなく
きっと
ヨーロッパ中が
決起しますよ
!
第3次十字軍
ですっ!!


1189年9月3日
ロンドン
ウェストミンスター寺院

アリエノールが末子ジョンを身籠った頃からヘンリー2世はロザモンドという女性に心を移し、夫婦仲は悪化する。彼女は英国を出て子供達とアキテーヌ領へ戻る(1167年)。

次男ヘンリーは戴冠し英王位を父王と分けていたが、実権はなく、更には末弟ジョンに譲られる領地に不満もあり、妻の父仏王ルイ7世に頼って父王に反旗を挙げる(1173年)リチャード・ジェフリーの2弟も兄に参加。

ヘンリー2世は息子達に対する人質としてアリエノールを捕え15年間も英国に幽閉する。

1189年6月6日夫の死により彼女は解放される。






できるなら……
ヘンリー陛下も地下で喜ばれておいでならよろしいけれど……
妾もいずれここに眠る
それまでヘンリーの傷りを頼むリドウィナ
なにもはやそなたに悪さはできぬ故

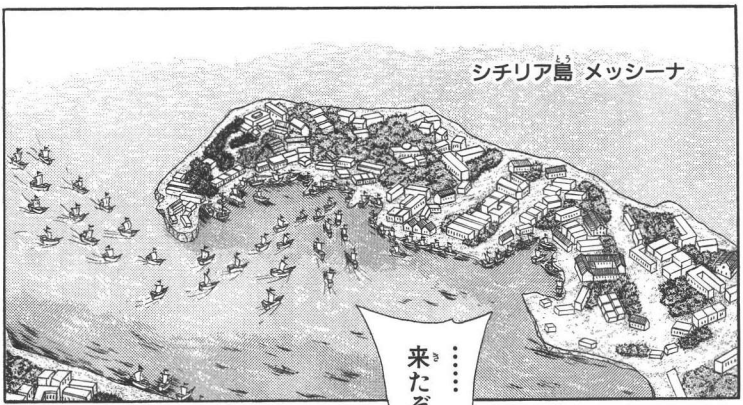

今度の聖地遠征にもついてゆかれるの？レニエ
ええ アリエノール様の代りに
あの方はリチャード様の留守の間王国を護らねばなりませんから
それに少々お年でもあるし…

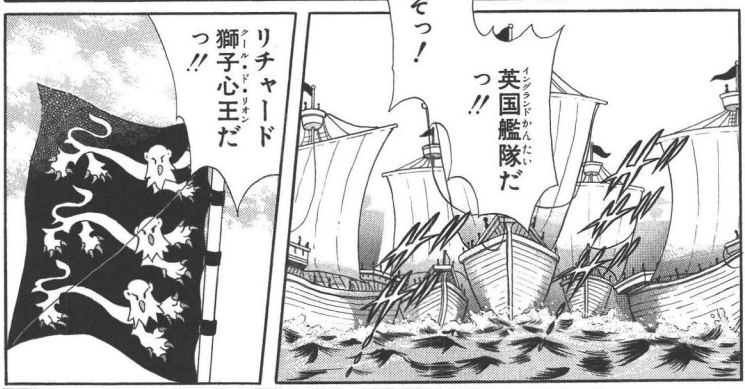

貴方だって
アリエノール様と
さして年齢は
変わらないはずよ
なのに 初めて
会った時から
微塵も衰えない
その美貌は
なぜなのかしら？
レニエ・
シヴリー
修道士
……
リドウィナ
？
突然何を
言い出すの
かと思えば
……
それでは
まるで私は
化け者ですね


代々の
フォントヴローの
修道院長達の
記述書の中に
一人変わった
修道女が
出てくるわ
彼女は
予知をしたり
幻視を
したり
手を触れただけで
傷を治したり
痛みを和らげたり
できたそうよ
まるで
貴方のようにね
レニエ


ところが
その修道女は
フォントヴローから
人知れずいなくなり
その約一年後
当時の
アキテーヌ公が
つまり
アリエノール様の
お父君が
秘密裡に
修道院に
申し入れて来た
莫大な寄進と
ともに一人の
赤子の養育を
その時の赤子が
貴方だわ
…
それが何か？
私が先代
アキテーヌ公の
庶子で
アリエノール様の
異母弟ならば
何だというの
です？
……
何が目的？


貴方は
何のために
生まれて
来たの!?
レニエ
アキテーヌの
存続を…
アキテーヌの
「血」と「名」の
永代の存続を
それが私の
使命です





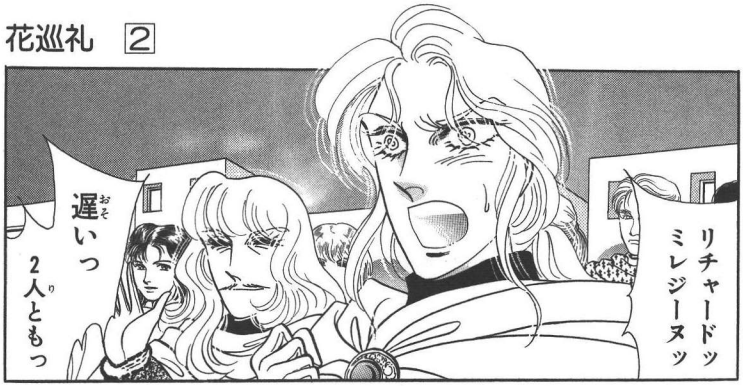
リチャード1世の婚約者だったフランス王女アデライドは25年振りに故郷に帰り、（既に30歳を過ぎていた）弟王フィリップ2世によって北フランスの領主ギョーム・ド・ポンティユーと結婚させられる（一一九五年）

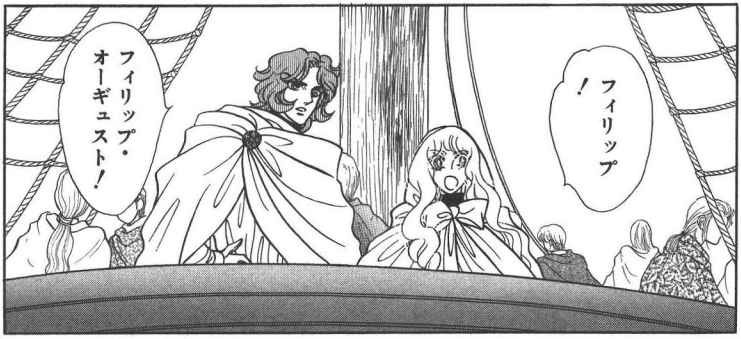
ジャンヌという娘が生まれた。長じて彼女は英王ヘンリー3世（アリエノールの末子であるジョン欠地王の息子）に求婚されるが、王は急遽プロヴァンス伯の娘に乗り換え、一方的に婚約を破棄される。

奇しくも母娘して英王室から同じ仕打ちを受けた。しかしジャンヌはカスティリアとレオンの王フェルナンド3世の後妻となり娘エリアノールを産む。

この王女はヘンリー3世の王太子エドワード（1世）に嫁ぎ16人もの子を成す。

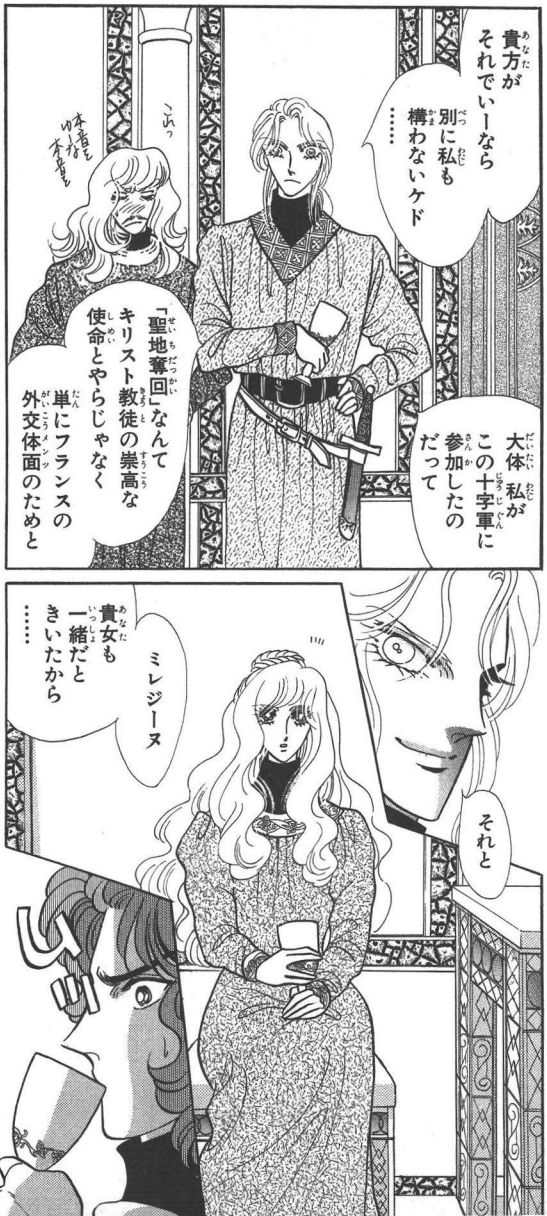
アデライドの血は結局英王家に流れてゆく。


リチャードッ
ミレジーヌッ
遅いっ
2人ともっ


フィリップ！
フィリップ・オーギュスト！


夏までにここで合流して聖地に向かう手はずだったのに！
英艦隊の到着が遅れたおかげですっかり東へ渡る風を逸してしまった!!
そのせいでここに冬中足止めだよ!!リチャード！
エルサレムはすでにサラディンに奪われてる
今更急いだって同じだぞフィリップ


余裕だね リチャード
ふーん
去年 ドイツの フリードリッヒ一世が 聖地に発ったと 報があった時
あの赤ヒゲオヤジに 先を越されて たまるかと あせりまくってたのに
そのドイツ皇帝は 聖地に着く前に 死んだ
核を欠いた ドイツ軍に 力はない
俺達 英・仏軍が 着かねば 聖地奪還は到底 望めんからな
……焦らして やる！
待たせて 待たせて ……
俺の到着を 焦がれる 程に!!
その方が聖地を 取り返した時の 感激もひとしおだろうよ！
教会に英王の ありがたみを 思い知らせて やる!!



ベレンガリア・ド・ナヴァール
～1230(？)

ナヴァール王サンチョ6世の娘。

英王リチャード1世(獅子心王)の王妃。

第3次十字軍に出発した(1190年7月)リチャードのもとに母后アリエノールが選び自ら送り届けた花嫁。(メッシーナ・1191年3月30日)

聖地への途中征服したキプロス島で結婚した(5月12日)リチャードとの間に子はない。

華やかな夫と義母の陰に隠れ公の歴史に姿を表す事は殆どなかった。

自ら建立したレスポー修道院で晩年を送り永眠した。


貴女と2人この穏やかな島で過ごせるのなら
一冬と言わずいつまでだって……
チュ
ミレイに近付くな――っ
女房持ちがずい分とずーずーしいセリフだな！
え!? フィリップよ！
ミレイさんの知り合いか!?
……王妃は半年前に亡くなったよ
じん
何!?
フィリップ？
死んだ
双子を産んで
その双子も一緒に死んだ


新しく建てたシテの大聖堂で
一番初めにしたのが彼女の葬式だったなんて……
フィ…フィリップ
クッ
そうだったの可哀相にフィリップ……
ネコもかぶるんじゃないっ
知らなくてご免なさい…
ミレイ……
だから現在
私は晴れて独身だよミレイ
ニコ
フィリップ…？
フィリップ!?

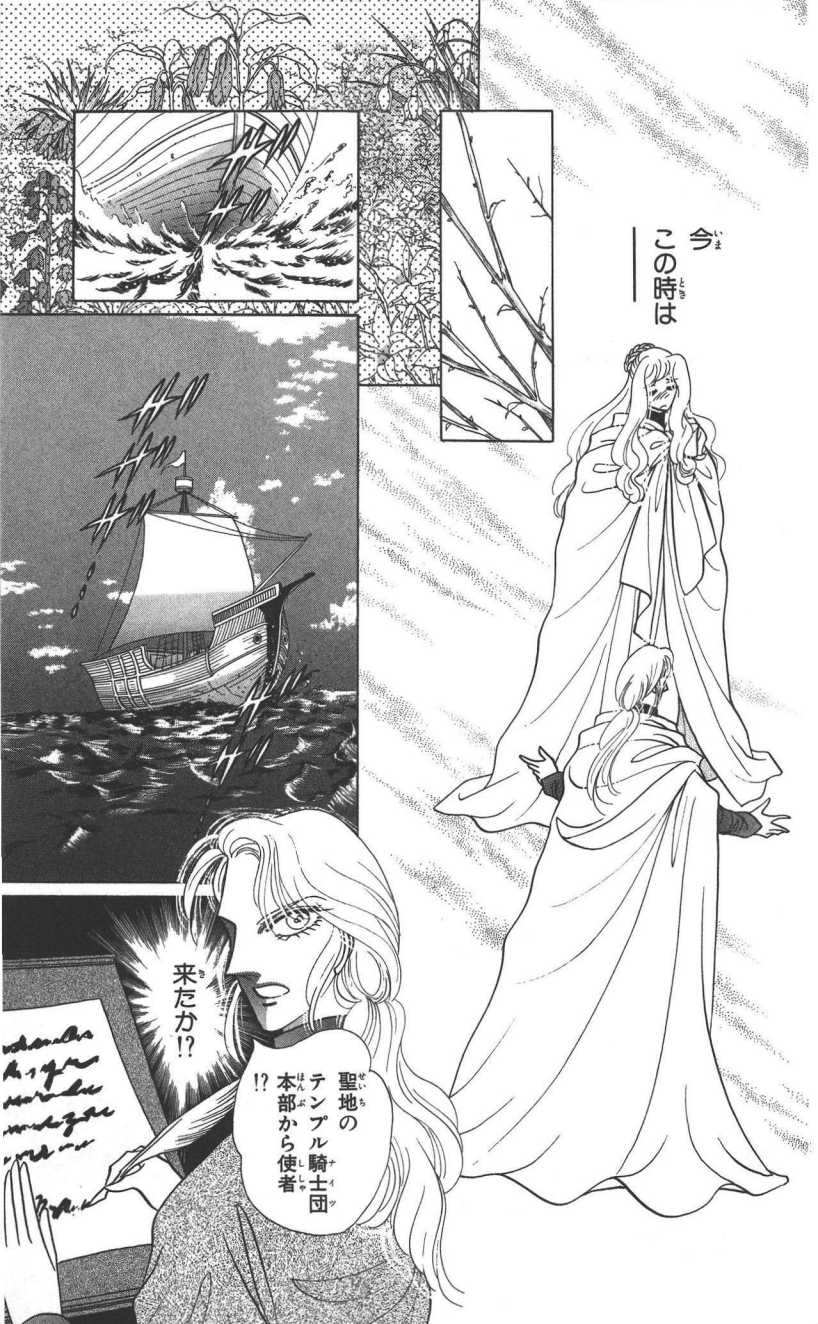

世継ぎの王子は
3年前に
生まれてるから
おまえは
〜〜〜〜
もう次の王妃を
もらう必要も
ない
恋人や愛人を
持つのは
自由だよね
リチャードに
嫌気が
さしたら
いつでも来てね
好きだよ
愛してる
ミレジーヌ
バカ者
っ！
ンなコトは
一生
待ったって
ないっ!!
ミレイを
はなせっ！
2度と
さわったら
ただじゃ…
…ああ
そうだね
何も
「待つ」こと
なんかない
かもね


戦場では気をつけるんだねリチャード
なんだと!?
いつ背中から剣や矢が飛んで来るとも限らないよ
…「尊厳王」の名が泣くぞ!
俺を暗殺する気か!?
…そんなもの
恋のためなら犬に喰わせたって惜しくないよ
できるものならやってみろ!!
フィリップ
リチャード


…私
フォントヴローへ戻った方がいいかしら……？
ミレジーヌ？
ミレイ？
それはリチャード様とフィリップ様のためだと考えてるなら多分逆効果になると思うよ
でも…
フロリュス卿に同感ですね
貴女がいるからこそ
あれでも最後の一線はなんとか踏み留まっておられますから


「最後の一線」って？
とっつかみ合いの撰り合いっ!!!
最低…
英・仏とも臣下の手前国王のそんなみっともないマネは極力避けて欲しいですが
…ああ
そうか
異教徒と殺し合うことのむごたらしさに比べれば
今のうちに好きなだけさせておけばいいよ
子供がジャレ合ってるのと大差ない
あの程度の諍いなどおだやかでかわいいものですよ

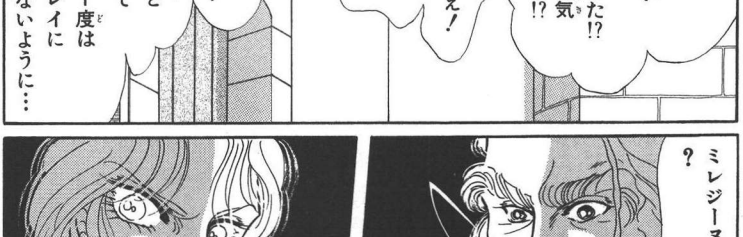

この男達は
前回の
十字軍にも
参加していた
のだった
だから
せめて
そして私も
よく
知っている
かの地での
戦闘の
苛烈さは


今
この時は
聖地の
テンプル騎士団
本部から使者
!?
来たか!?


春が来て
風が変わった
東への
巡礼風だ!!
そろそろ
腰を上げろと
督促の使者だな
初めて
御前に
フランス国王
フィリップ2世陛下
私 オンフロワ・
ド・モリソン
英・仏両王の
聖地までの水先案内を
言いつかって参りました
やはり
……!!


遠路ご苦労
ちょうどよかった
今日はその出航の日時を決めるため会見の予定がある
もうお見えになる時刻だ
へ…陛下！
それが……
……
何!?


ミレジーヌの気分が悪くて出かけられない!?
どうした!? 何か病気なのか!?
い…いえ！ それがはっきりとは…
クソッ!! リチャードめ！ 何だかんだと難クセつけて2度に1度は私をミレイに会わせないように…


ミレジーヌ?
ミレイ!?


ミレイが何か？モリソン
いや失敬
某の娘もミレジーヌという名なのでつい…
無論実の娘ではございません
昔東方で代父となりました
「貞節」を誓った修道騎士の貴公に…娘!?
フランス人アラールとリドウィナの娘で
生きておれば母親とともに
英王リチャード陛下の母后アリエノール・ダキテーヌ様のもとにおるはず…


フィリップが来ただと!?
ミレイの具合が悪いと言えば
見舞いと称してこっちの宿舎にやって来るだろうとは思っていたが…
…リチャード
わかってる
チッ
どーせいつまでも隠してはおけんしここで会わせないとまたゴネて居座るか日参されるし……
仕方ない通せ
はっ


ミレジーヌ……？
そう 彼女だ
フィリップ？
誰だ？ その男は
白地に赤い十字 テンプル騎士のマンド
この男…
ミレイ…
俺だ
わかるか？ ミレジーヌ
…まさか


何だ!?
おまえは
……
モリソン
隊長
…?
モリソン
父さま…
…そうだ
そうだ
そうだ
そうだっ
憶えてたか!?
ミレイ
よかった!
父さまだ
父さまだ
父さまだーっ


これが昔よく
ミレイが
言ってた
東方の
「父しゃま達」の
一人…か
「修道騎士」
騎士であり
修道士
聖地を守護する
特別な戦士
常に異教徒との
最前線を
生きて来た勇者
歴戦の
強者
こんなのに
生まれた時から
何ダースも囲まれて
たんだから…
弱虫
弱虫
弱虫ィ
…納得
相手が
「父親」
じゃあ
ヤキモチ
やけないだろ？
気に入らない
のは一緒だ!!
るさい
！


あれから皆
殆どバラバラに
別の任地へ
行かされて
大半は
戦死しちまってるが
まだ
生き残ってる
のも何人も
いるからな


おまえがまた
パレスチナへ
戻って来たと知れば
喜ぶぞォ ミレイ
嬉しい!!
早く他の
父さま達にも
会いたいわ!
しかし
驚いたぞ
おまえが
英王の
恋人とは
仏王の
おまえを
見る眸も
マンザラじゃ
なかったし…
あきれた?
いーや


さすが俺達の娘だ！
フフッ
しかしこれをあの堅物のアラールがきいたならどう思うかなァ
父さま？
父さまなんて…
もう死んでしまってるから
何も…


…まさか
生きて…
…
見かけた
…
という奴がいたんだ…
シリアでトルコに捕われて
捕虜になっていた時に会った…と
父さまが……
生きて……
もっともそいつもう戦死してて
それ以上詳しいコトは……
母さま


何だと!?
俺と一緒に艦隊で聖地に行く!?
ミレイ!?
ダメだ!!約束しただろう?おまえはここに残るんだ!
残って大事とって体が元通りになってから来る…と!!
リチャード
それまでに俺はエルサレムを取り戻して
結婚式の準備を整えておくから!
な!?
でもリチャード……父が…


ミレイがここに残る…って
なぜだ!? リチャード
腹に子がいるんだよ!!
無理させられるか!
こっ子供ォ!?
今日わかったんだ
ミレイと俺の子だぞォ
ざまーみろフィリップ
……リチャード!


一緒に連れてって
くれないなら
私は一人で
普通の巡礼船に
乗ってでも
ゆくわよ!!
ミレイ!
ミレジーヌ!
ミ…
ミレイ
やはり
ここは一つ
我慢して…
アラールの
事なら…
俺達が
調べておいて
やるから…
赤ン坊が
生まれる
までは…
…私は
貴女は聖地へ
向かうべきかと
ミレジーヌ


レニエッ!?
シヴリー修道士!?
その子は貴女と同じく
聖地で生まれなければ!!
聖地で生まれた子供
聖地で生まれる子供
聖地…
アキテーヌの「名」と「血」を永代に導く子供
イエス・キリストが生まれた地…


ある日
フォントヴローの
修道女が
参詣に来ていた
アキテーヌ公に
告げた
「貴方の家は
次の代で
失せる」
彼女の予見は
外れたことはない
修道女に
アキテーヌ公は
問おた
「ならば
どうすれば
それを防げるのか
!?」
「私には
その未来は
視えない
私には
そこまでの
寿命はない
だが
私の子ならば
視えるだろう」

公は彼女に
子供を与えた





テンプル騎士団の正式名称は「キリストの貧しき騎士にしてエルサレムなる教会騎士修道会」という。

だが実際は寄進や特権から大変裕福だった。

（キプロス島を英王リチャード1世から現金で買い取った程度後にこの島が本拠地）

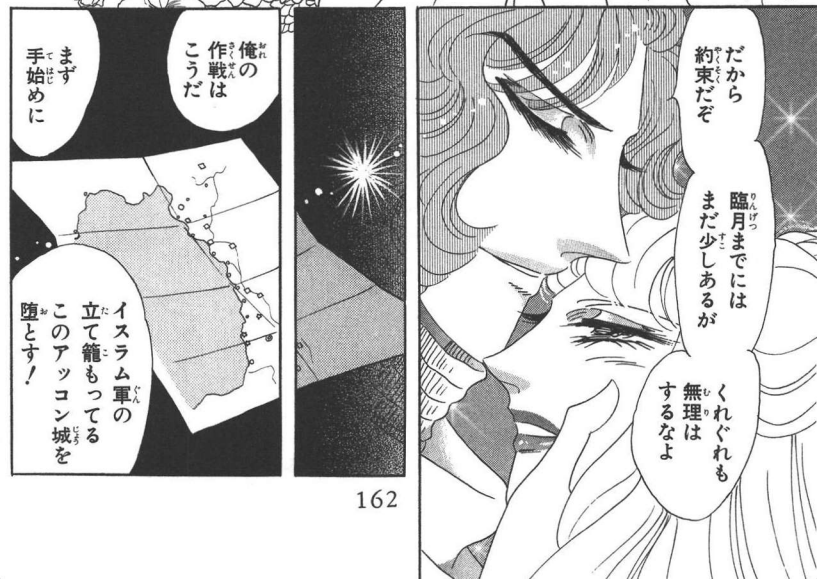
シリア・パレスチナのみならず全ヨーロッパに支部を設け拡大したが、その独立した強大な軍事力を恐れ、莫大な財産の接収を狙った仏王フィリップ4世の弾圧を受け解散した。（一三一二年）

聖ヨハネ騎士団はロードス島・マルタ島へと拠を移し、現在もその形骸をマルタ島に残し、世界被災救助事業に協力している。

（マルタ騎士団本部ジュネーブ）


どうして!?
みんな
どうして!?
先に
モリソン隊長が
持ち帰った
英王陛下の
書状のおかげだ
陛下が
おまえのために
騎士団本部を
通して
俺達を
任地から
集めておいて
下さったのさ
……
リチャード
ありがとう
リチャード♡
おまえと
腹の子の
護衛だよ
「じーさん達」は
適任だろ


リチャード!?
だから
東方の
地に明るくて
腕も確かで
信用もおける
彼らを
呼んで
おいたんだ
母親のために
父親を捜し
たいんだろ?
どうせ
ダメだって言ったって
きかないからな
おまえは
おまえの
好きに使え


だから
約束だぞ
臨月までには
まだ少しあるが
くれぐれも
無理は
するなよ
俺の
作戦は
こうだ
まず
手始めに
イスラム軍の
立て籠もってる
このアッコン城を
堕とす!

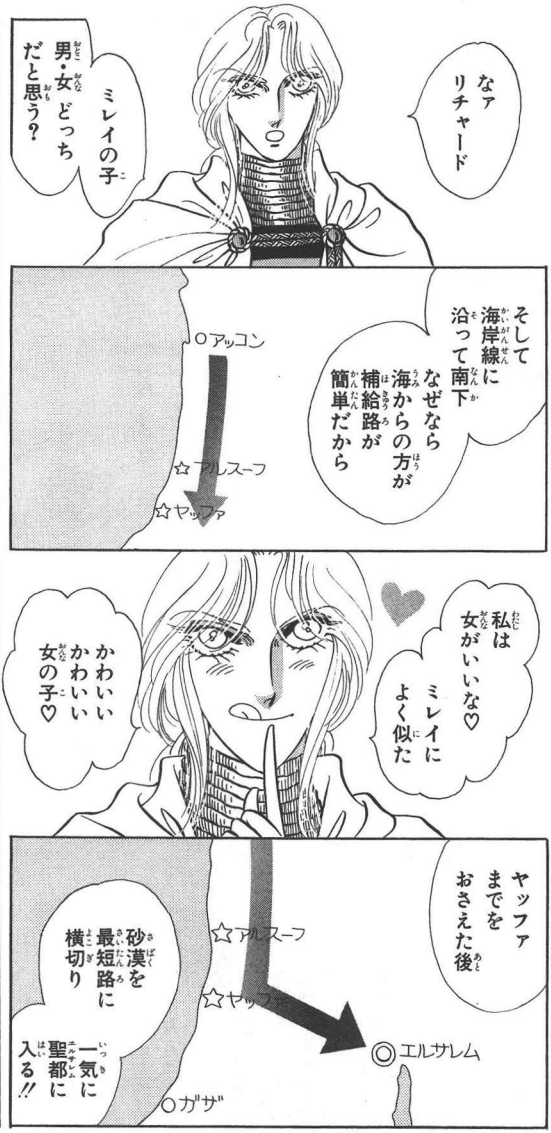
パレスチナへ到着してからのリチャードの戦歴

1191年
6月8日 アッコン着
7月17日 陥落・入城
仏王帰国
9月14日 アルスーフにて勝利
1192年
8月 ヤッファにて勝利

この後エルサレムへ向って進軍を始めるが補給を艦隊に頼っていたため沿岸地帯から遠く離れることができずエルサレムの20km手前で断念。

9月2日 サラディンと単独休戦協定成立

リチャードが帰国の途についたその半年後サラディンはマラリアにて死亡。




これで
どうだ!?
フィリップ
うん
！
絶対
女の子が
いい！
で
ウチの王子の
嫁にもらう
バカ野郎っ!!
誰が
フランス王家なぞに
やるかっ！
それに
生まれるのは
絶対 男だっ!!
俺の
後継ぎだっ!!!
でも 現在のままじゃ
庶出子で
正統な後継者には
できないよ
義兄妹である
俺とミレイの
結婚を
……
だから
正式に
教会に認めさせる
ために
そのために
東方に
来たんだ!!
…果たして貴方の
作戦通りに
ゆくかな？
ミレイは
そんなコト
望んでるかな
……？


ゆかせるさ！
まずはアッコンだ!!
クー
クー
クー
クー
モリソン隊長！
タタッ!!
おお！
どーした？
ミレイは？


今あっちで
負傷兵達の
手当てを
手伝ってる
実は
彼女は
フランス一の
外科医だ
そうだ
い…
いいのか!?
そんなことして
体や腹の子の
障りになったり
したら…


病気じゃ
ないんだから
少しくらい
動いてる方が
いいらしい
もう少し
我慢して
は…はい
実際 戦闘中の
リチャード陛下を
心配して
ジッとしてるより
マシだろうが…


……
嘘みたい
だよなァ
あの娘自身
ついこの間
生まれた
ばっかだと
思うのに
そのミレイが母親に
なるなんてよォ…


アラールのバカめ…
ガス…
あ！そーだそのアラールだ
生きてりゃさっさっと出てくりゃいーのに…
何だ？
さっき新しく捕虜にしたイスラム兵からきき出したんだが…
「マムルーク」!?
アラール父さまらしき男がサラディンの白人奴隷軍にいる!?
ああどうやらシリアでトルコ軍から買い取られて行ったらしい
「マムルーク」といやァサラディン側近の最精鋭軍だ

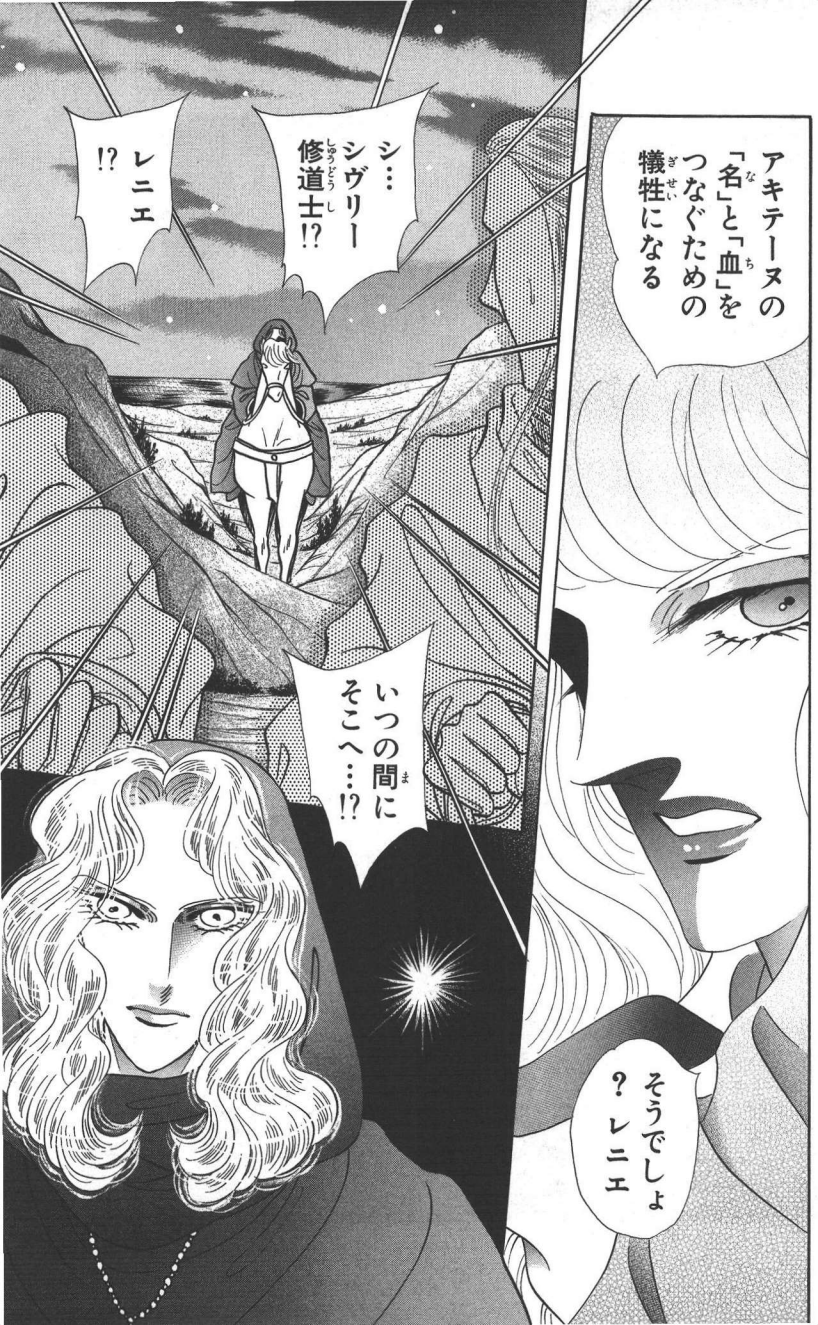

……
あいつ…
治療士としては
一流だったけど…
騎士としてはなァ…
父様…
とてもアラールに務まるとは…
……
ミレイ
やったぞ
ミレジーヌ
アッコンを堕としたぞ

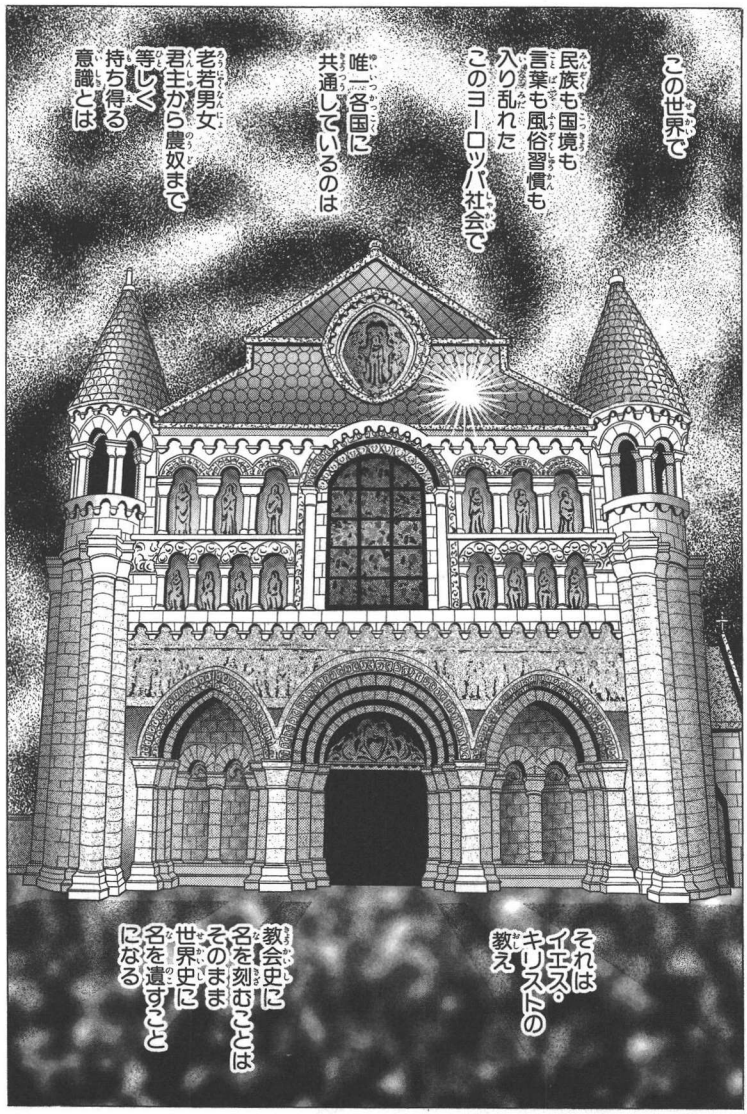

なのにな
ミレイ
きいてくれ
腹立つことに
ドイツ軍の奴ら
俺より先に城内に…
ミレイ……？
…もし…
カサ…

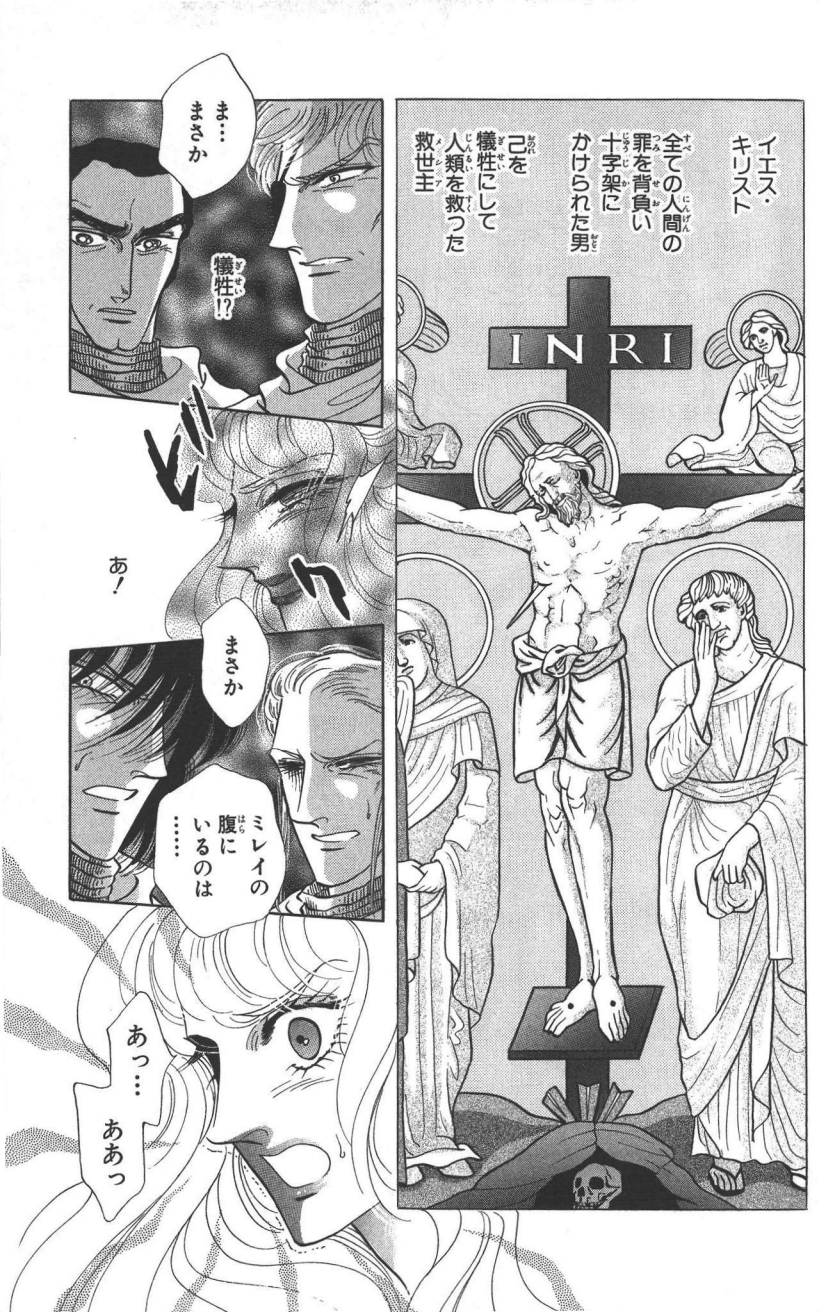

もしも
再び
この地に
巡り来る機会が
あるとしたら


私は——
私は
必ず…


ミレイ
すまんが
これ以上
奥には行けん
どこから
イスラム兵が
襲って来るか
わからんからな
ううん
ここでいい
この荒野が
見たかったの
無理言って
ご免なさい
なぜこの子を
産むのに
故郷でなくては
ならないのか？
私はなぜ故郷へ
帰って来たのか？
おかげで
やっと
わかった
……
やっと
確信した
この子は
生け贄ね


アキテーヌの「名」と「血」をつなぐための犠牲になる
そうでしょ？レニエ
いつの間にそこへ…!?
シ…シヴリー修道士!?
レニエ!?


この世界で
民族も国境も
言葉も風俗習慣も
入り乱れた
このヨーロッパ社会で
唯一各国に
共通しているのは
老若男女
君主から農奴まで
等しく
持ち得る
意識とは
それは
イエス・
キリストの
教え
教会史に
名を刻むことは
そのまま
世界史に
名を遺すことに
なる


イエス・キリスト
全ての人間の罪を背負い十字架にかけられた男
己を犠牲にして人類を救った救世主
INRI
ま…まさか
犠牲!?
あ!
まさか
ミレイの腹にいるのは……
あっ…
ああっ


ミレジーヌ!?
どうしたっ!?
……お腹……
赤ちゃん……
生まれ…る…
ミレイ…
レニエ
レニエ
……赤ちゃんが
……
大丈夫
まだ大丈夫ですから
落ち着いてミレイ


少し丘を
下った所に
小さな廃村と
小川がありました
！
そこへ
!!
おう
！
わ…
わかった
流産は
なんとか
まぬがれた
ようですが
……
んっ…
苦しいですか
？ミレイ
私の癒しが効いて
いないとなると
これは…

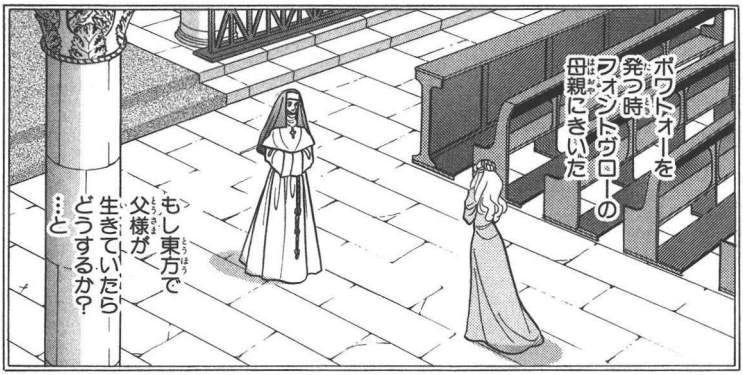

平気よ…
だんだん痛む間が短くなってるけど…
…やはり陣痛ですね
ここで産むしかありませんよ
じゃ本当に生まれるのか!?
まだ二月も早いぞ!!
なぜだ!?
ケガ人の治療の手伝いがいけなかったのか!?
それとも馬でこんな所まで乗せて来たから…
…違うわ
この子が生まれたがってるのよ
そうでしょ? レニエ
ええ
さすがリチャード様の和子です
お強い


小川から
もっと水を
くんで来て
！
枯木を集めて
お湯をわかして
下さい！
いっぱい
ですよ！
それから
どなたか
リチャード様に
お知らせを!!

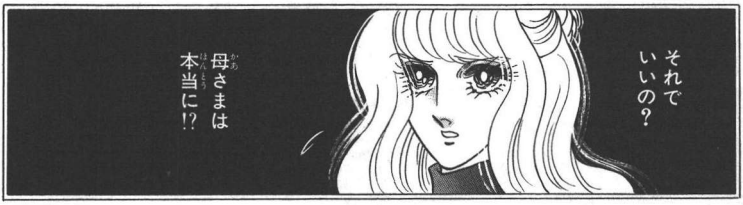

…ねェ
レニエ
この子は本当に
キリストの
生まれ代りなの…？
…誓って
言いますが
私は
生まれて来る
和子に犠牲など
強いる気は毛頭
ありませんよ

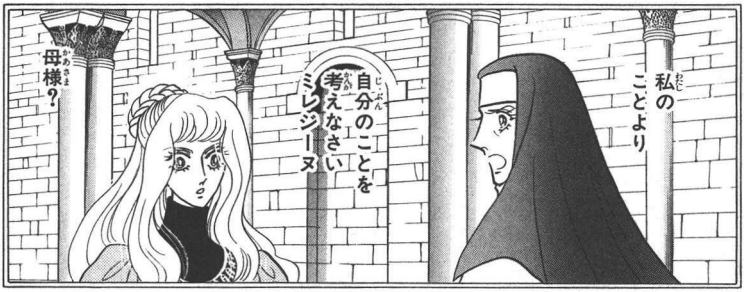

イエスだとてそうです
彼は彼を捕まえ裁判にかけ処刑してしまおうと待ち構えていたユダヤの司祭やローマの役人がいることを承知でエルサレムへ入城したのです
彼が十字架にかかったのは自らの意志でした
「他人の罪を負った」とか「犠牲になった」とかは彼を利用するための周囲や後世の人々のこじつけにすぎません
修道士が大胆な発言…
うぬ…
フン!
聖書に全部書いてありますヨ


強い意志と
健康な肉体と
素直な精神と
そして
聖地の
精霊の加護
私が
アキテーヌ存続の
ために求めたのは
これだけです
精霊の
…？
人間は必ず
生まれた土地に
祝福されています
故郷を懐かしく
思うのは
そのためでも
あるのでしょう
祝福…？
…じゃあ
んっ
んんっ
この子も
いつか
この地に
帰りたい
——と


ポワトオーを発つ時フォントヴローの母親にきいた
もし東方で父様が生きていたらどうするか？
…と


好きで帰らないにしろ
何か事情があって帰れないにしろ
結局はいずれ会えるわ
天国でね


それでいいの？
母さまは本当に!?


私のことより
自分のことを考えなさい
ミレジーヌ
母様？


リチャード様と
幸福になること
だけを――
…あそこだ！
バレスチナ
私の
故郷
くそ～～～っ
遅かったか
～～～っ
ミレイ
～～～ッ
そして両親を
引き裂いた地
何!?
本当か!?
フィリップ
経験者
一児の
パパ
ミレイの
バカ…
こんなトコで
産気付く
なんて…
風に乗って
赤ン坊の
泣き声がするよ
リチャード

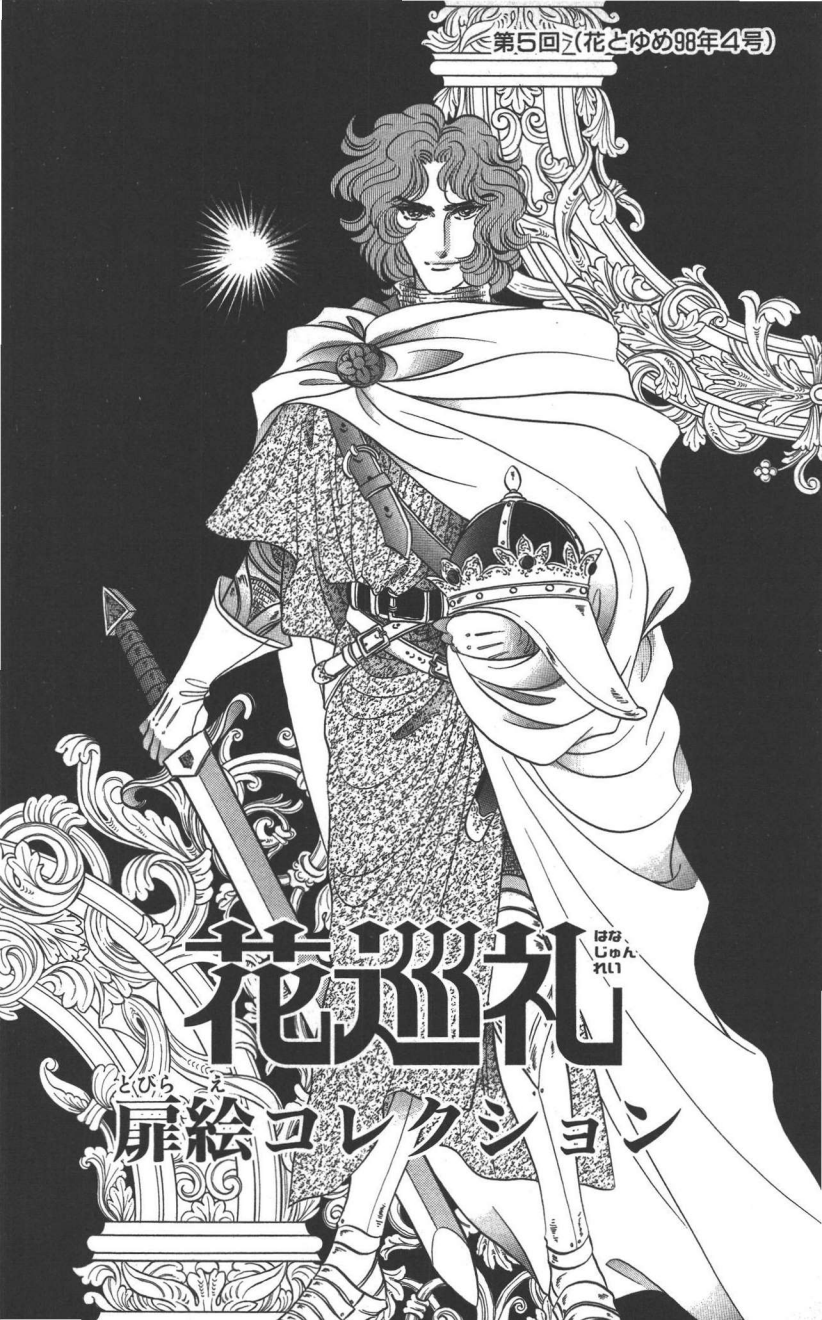

この地を
思い出す度
私は
いつも
誓った
教会の承認が
なくても 聖地は
ちゃんと認めたわ
私は貴方の妻だと
この子は
その証よ
――もし
だから もう
エルサレムに
行かなくて
いいのよ
リチャード
ポワトォーへ
帰りましょう
アリエノール様達が
待ってるわ


ああ
わかってる
だが できることなら
このまま俺に
騎士としての力を
徹底的に試させて
くれないか？
私は必ず
幸せになろう
いいわ
サラディンみたいな
敵には きっと2度と
会えないだろうからな
もしも再び
この地に巡り来る
機会があると
したら
ありがとう
愛する人と
子供とともに


必ず――
…弔いの鐘だ
盛大だな
一体誰の葬儀だ？
英国王リチャード一世とその奥方？
あの十字軍の獅子心王が死んだ!?
王の棺にすがって泣き崩れている女性は？
あれが母后アリエノール・ダキテーヌ!?


…その後ろに付いている子供は？
リチャードの娘!?
獅子心王の忘れ形見!?
聖地生まれのブランシュ姫!?

第5回（花とゆめ98年4号）



花巡礼（はなじゅんれい）

扉絵（とびらえ）コレクション



第4回（花とゆめ98年3号）

第3回（花とゆめ98年2号）



扉絵コレクション　おわり

《収録作品メモ》
●花巡礼②　平成9年　花とゆめ24号掲載
　　平成10年　花とゆめ1～5号掲載

花とゆめCOMICS
花巡礼②

1998年5月25日　第1刷発行

著者　河惣益巳
©Masumi Kawasou 1998
発行人　甘利博正
発行所　株式会社　白泉社
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2－2－2
電話・編集 03(3526)8025
販売 03(3526)8010
業務 03(3526)8020
印刷所　図書印刷株式会社

ISBN4-592-12889-3
Printed in Japan HAKUSENSHA
乱丁・落丁本が万一ございましたら、小社業務課宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。
本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などをすることは、著作権法上での例外を除いて禁じられています。

9784592128892

ISBN4-592-12889-3

C9979 ¥390E

1929979003906

定価410円 本体390円

雑誌43758－07



花とゆめCOMICS

▶収録作品◀

リドウィナとアラールの娘ミレジーヌ。
彼女は英王太子・リチャードと運命的
に出会い、愛し合う様になるが……？
中世フランスを駆ける華麗な騎士物語
「花巡礼」第二部ミレジーヌ編を収録。

白泉社